

広島県トライアスロン協会

設立5周年記念誌

三〇五

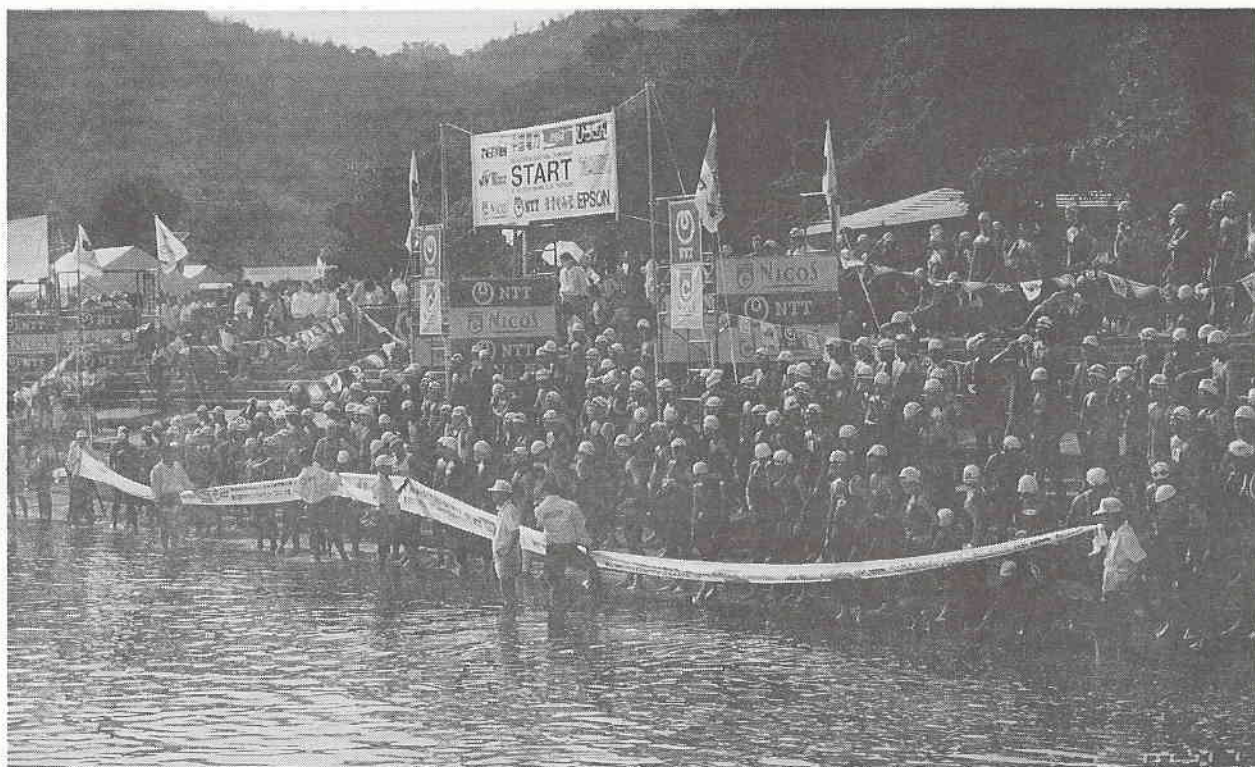
1999年6月

広島県トライアスロン協会

HIROSHIMA PREFECTURAL TRIATHLON ASSOCIATION

広島県トライアスロン協会

設立5周年記念誌



(第3回日本トライアスロン選手権大会)
('97瀬戸内マリンブルートライアスロン大会)

広島県トライアスロン協会

HIROSHIMA PREFECTURAL TRIATHLON ASSOCIATION

目 次

第5回総会及び交流パーティースナップ

祝 辞	広島県知事	藤田 雄 山	1
祝 辞	中国新聞社代表取締役社長	山本 治 朗	2
5周年記念誌発刊に際して	(財)広島県体育協会会長	多田 公 熙	3
設立5周年に寄せて	(財)広島陸上競技協会会長	川 村 毅	4
設立5周年に寄せて	道後山高原トライアスロンキャンプ&レース実行委員会新委員長 西城町長	田 盛 敬 三	6
設立5周年記念誌に寄せて	トライアスロンさぎしま大会会長	白 須 均	7
設立5周年記念誌に寄せて	蒲刈スイムラン実行委員会会長	木 村 善 一	8
トライアスロンさぎしま大会を思う	三原市中央公民館館長	安 森 健 司	9
設立5周年を思う	広島県トライアスロン協会会長	川 本 正 行	10
県協会の設立にいたるまで	広島県トライアスロン協会前理事長	吉 村 光 俊	11
県協会5年、これからも	広島県トライアスロン協会顧問	荒 井 貞 光	12

県内大会の概要と記録 ('94~'98年度)

○ ワールドトライアスロンインひろしま	13
○ 瀬戸内マリンプルートライアスロン	15
○ トライアスロンさぎしま	17
○ ジュニアトライアスロンINのうみ	19
○ 道後山高原トライアスロンキャンプ&レース	22
○ スイムランインかまがり	25
○ ビギナーズトライアスロンセミナーINグリーンピア	27
○ デュアスロンヒロシマ	28

広島県トライアスロン協会年譜

○ 創設期 (1993年7月~1994年3月)	31
○ 第1期：出発期 (1994年4月~1995年3月)	33
○ 第2期：飛躍期 (1995年4月~1996年3月)	35
○ 第3期：発展期 (1996年4月~1997年3月)	37
○ 第4期：充実期 (1997年4月~1998年3月)	39
○ 第5期：転換期 (1998年4月~1999年3月)	42

広島県トライアスロン協会規約

45

広島県トライアスロン協会歴代役員

49

'99年度会費及び会員登録手続について

57

第5回総会及び交流パーティー

(1998年4月5日：広島市西区民文化センター大会議室にて開催)

川本会長挨拶



総会(議長:亀井副理事長)



年間優秀者表彰



功労者表彰

吉村 光俊氏

(初代理事長:県協会設立に貢献)



交流パーティー

来賓挨拶

田中能美町長



野口 JTU 理事



谷口新理事長



祝 辞



広島県知事 藤田 雄山

広島県トライアスロン協会が設立5周年を迎えられますことを、心からお慶び申し上げます。

近年、健康で活力ある生活を営むために、生涯にわたってスポーツに親しむことの重要性が、広く認識されるようになりました。とりわけトライアスロンは、平成12年に開催されるシドニーオリンピックにおいて正式種目として実施されるなど、ますます広がりを見せているところです。

広島県トライアスロン協会におかれましては、このようなトライアスロンの普及・振興を通じて、県民の健康維持・増進に大きな役割を果たしてこられました。ここに、心から敬意を表しますとともに、今後ともこのスポーツが広く定着しますことを願っております。

県といたしましても、「“エンジョイ チャレンジ” スポーツ広島」を基本理念に「広島県スポーツ振興計画」を策定し、また、平成13年には「第14回全国健康福祉祭(ねんりんピック)」、平成14年には「第15回全国スポーツ・レクリエーション祭」を開催するなど、スポーツの振興に努め、一段と高まりを見せている県民の皆様のスポーツ活動への関心に応えてまいりたいと考えております。

終わりに、今日まで広島県トライアスロン協会の発展のために御尽力されました関係の方々に深く敬意を表しますとともに、選手の皆様の御活躍と今後益々の御発展を祈念しまして、お祝いの言葉と致します。

祝 辞



中国新聞社代表取締役社長 山本 治朗

「最も過酷なスポーツ」と形容されるトライアスロン競技の普及、振興を目的に設立された「広島県トライアスロン協会」が、5周年を迎えられますことは、誠に喜ばしく、心よりお祝い申し上げます。

今から、21年前にハワイで第一回の大会が開催されたトライアスロン競技は、「限界への挑戦」や「レース後の達成感」などによって競技者の情熱が高まるとともに、急速に世界各地へ普及してきました。広島県内においても、昭和61年に初めて「ワールド・トライアスロン・イン・ひろしま大会」が呉市周辺で開催され、県内外の方々の関心が集まったと記憶しております。

貴協会におかれましては、弊社とともに平成6年より豊田郡本郷町の広島県立中央森林公園サイクリングロードで「デュアスロンヒロシマ」を、また、同7年からは比婆郡西城町のクロカンパークで「道後山高原トライアスロンキャンプ&レース」を展開され、県内外の多くの競技者・愛好者から好評を得ておられるのは、広く知られているところです。

また、貴協会では、競技が盛んなニュージーランドとの国際交流を図ろうと、平成8年から県内選手と同国選手の相互派遣をされるなど、その活動は時宜を得たものであり、県内の競技力向上に貢献することと確信しております。

来年開催予定のシドニー五輪大会において、トライアスロンは正式競技となり、ますます注目を集めることと思います。貴協会におかれましては、今後とも様々な活動を通じて、競技力向上に努められますとともに、次代を担う選手育成にいっそう力を注がれますよう期待しております。

終わりに、貴協会のますますのご発展を祈念しまして、お祝いのことばと致します。

広島県トライアスロン協会5周年記念誌発刊に際して



財団法人広島県体育協会会長 多田 公 熙

「広島県トライアスロン協会」におかれましては、この度創立5周年を迎え、記念誌を発刊される運びとなりました事、誠におめでとうございます。

近年、トライアスロンの普及とその発展は目覚ましいものがあり、男女を問わず若者の間でも、爆発的な人気を得て、競技人口・愛好者が増えて来たスポーツであります。

「広島県トライアスロン協会」が発足し、一昨年広島県体育協会に加盟して以来、協会に対する信頼も厚く、これまで主として民間団体や地方行政機関等で実施していた大会も、トライアスロン協会主催・主導で大会が運営されるようになって参りました。

また、県内組織の強化や競技の普及・強化に力を注ぎ、多くの役員・選手を育て、他県を大きくリードして来られました。

これら皆さんの、トライアスロンを愛し育てて来られた情熱と、地道なご努力に対し、心から敬意を表するものであります。

これからの社会は、高齢化に向かって加速度的に進んでまいります。そう言った中、一人一人が健康で明るい社会を築いて行くためには、平素からの強い体力と精神力を培って行く事が不可欠であります。

そう言った意味から言うと、基礎的な運動能力と持久力を要求されるトライアスロンは最適なスポーツであると考えています。

次のシドニーでのオリンピックでは公式種目として加わることになっているトライアスロン競技ですが、皆さん方には、これを機に成年層はもとより、小・中学・高校生を含めた若年層の育成にも力を入れられ、中高齢者にも幅広い層に親しまれる競技として、さらに普及・発展し、早い時期に国体の競技種目として活躍いただける事を願っております。

シドニーオリンピックにおける日本選手の健闘を祈り、広島県トライアスロン協会の益々のご発展と皆様方のご健勝を祈念して、お祝いの言葉と致します。

広島県トライアスロン協会設立5周年に寄せて



財団法人広島陸上競技協会会長 川村 毅

広島県トライアスロン協会が設立5周年を迎えられたことに、心からお喜び申し上げ、トライアスロン競技の発展と広島県協会のますますの充実・飛躍を期待してやみません。

水泳、自転車そしてランニング（マラソン）という複合長距離競走であるトライアスロンは、アイアンマンレース（鉄人レース）と呼ばれるほど超人的な耐久レースであります。ハワイで生まれ、アメリカから世界へ広がったトライアスロンは、資料によりますと1978年ハワイ・オアフ島で第1回大会が開催されており、年々参加者が増え、82年から世界選手権大会が繰り広げられております。日本からはハワイでの第4回大会に初参加しており、またわが国でのトライアスロンレースは81年夏に皆生（鳥取県）で実施したのが最初と聞いております。そのトライアスロン競技がデビューして以来の飛躍変動には目覚しいものがあり、中でも最大のニュースは来年のシドニーオリンピックの正式種目に決定したことでありましょう。

広島県トライアスロン協会が県体育協会に加盟してから、組織強化と各種事業に積極的な取り組みをされていることに敬意を表します。広島陸協にとってトライアスロン協会は県体協の仲間というだけのものではなく、盟友的なパートナーと認識しております。トライアスロン協会のメンバーに陸協関係の会員がいて「走る」という共通の認識と行動が存在するからであります。今後、互いの協会の連携をより深めていきたいと望んでおります。

スポーツがどんなことから発展して、現在のようになったのであろうかと考えると、そこには長い歴史があり、スポーツの原型も遊びであったり、仕事から変化したもの、戦闘技術のよなもの、あるいは宗教や儀式のための運動など、様々な形が想像できます。このようにスポーツの原型・起源をさかのぼることは難しいことではありますが、楽しいものでもあります。古代人は木登りしたり、動物を追いかけたであろうし、豊作・豊漁を祈るものや信仰と結びつくような遊びを含めて、長い時間をかけてスポーツは現代風に育って来たに違いありません。

陸上競技の中心になっているものは「走る（歩く）」「跳ぶ」「投げる」であり、それらがまたいくつかの運動に分かれています。短い距離を速く走る，長い距離を走る，障害物をとびこえて速く走る，互いにリレーして走る，遠くまで速く走る，上に高く跳ぶ，前方へ遠く跳ぶ，重い物を遠くに投げる。これらの運動がそのまま陸上競技の正式種目になっているものは多く，かつて狩猟生活をしていた古代人の生活様式を陸上競技と結びつけて想うことは楽しいものであります。

陸上競技に打ち込むものもトライアスロン愛好者も，それぞれが競技に対する限りない愛着を持っております。夢と希望，ボランティア自覚，その上しっかりとした価値観とアイデンティティを失うことなく，やるからには着実に前進したいものであります。競技の普及・向上に努め，それが生涯スポーツの振興，スポーツ文化の確立に少しでも役立つとともに，世界へ羽ばたく競技者の育成を願っております。21世紀へ向けて力強く踏み出して欲しいと祈念し，挨拶といたします。

広島県トライアスロン協会設立5周年に寄せて



道後山高原トライアスロン キャンプ&レース実行委員会
実行委員長 西城町長 田 盛 敬 三

第5次全国総合開発計画における中国地方、とりわけ中山間地の役割りは、「国民の保養の場」であります。ここで言う「保養」とは自然や田園・森林文化との交流の中での心身の健康作りや人間性の回復といった範囲までを含む、非常に幅広く多様なものと考えます。

1995年春、オープン間もない道後山高原クロカンパークでのトライアスロン大会共催のお話をいただいた時、広島県トライアスロン協会から示されたコンセプトは、「ビギナー」と「ファミリー」というキーワードに凝縮されるものでした。子供や初心者を対象としたクリニックを行うことによってトライアスロンの底辺を拡大し、家族で夏休みのキャンプを楽しみ競技に挑戦できる、そんな大会を自ら創りたいというトライアスロン協会の想いと、クロカンパークの特長を生かした競技の開催を模索する西城町の想いとが一致して、道後山高原トライアスロンキャンプ&レースは生まれ、育って来ました。

比婆道後帝釈国定公園を背景にした標高700mの道後山高原を舞台に、真夏の太陽のもとで行われる本大会は、おそらく日本で一番空に近い大会でしょう。幅員6m、延長5km、総芝仕上げの常設クロスカントリーコースと周囲を巡る管理道、安全性を保たれた真夏でも涼しい快適な競技空間といった環境と小学校低学年から60才代まで3世代にわたる競技者の参加があることが、この大会の特長といえるでしょう。

自然や健康への関心が高まり、余暇時間が増加する一方で、家族のあり方が問われ、絆が求められている今日、トライアスロン協会の希求するところは、社会に対する普遍的提言でもあったと、改めて深甚なる敬意を表します。

ところで、「クロカンのまち西城町」という言葉をお聞きになったことがあるでしょうか。「クロカン」とはふるさと（カントリー）で、人と人・自然・文化との交流（クロス）を深めて行こうという意味を込めた西城町のまち作りのテーマです。

これまでにこの大会に出場した子供たちの中から、世界を舞台に活躍する選手が現れるかもしれません。歳月がその顔に深いシワを刻んでも、趣味や生きがいとしてトライアスロンを続ける方もおられるでしょう。その時に自らのトライアスロンの原点が道後山高原トライアスロンキャンプ&レースにあったと感じてくださる方があれば、それこそが西城町の見えざる財産であり、トライアスロン協会とのパートナーシップによって、これからの社会に貢献していけることを誇りに思います。

最後になりましたが、広島県トライアスロン協会の更なる発展と原点の永遠なることを祈念し、設立5周年のお祝いいたします。

広島県トライアスロン協会設立5周年に寄せて



トライアスロンさぎしま大会会長 白須 均

広島県トライアスロン協会の皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。この度は協会設立5周年おめでとうございます。

21世紀の扉の前に立つ本年は「'99トライアスロンさぎしま」10回大会を迎える大きな節目に当たります。

過去を顧みますと、佐木島に多くの方をお招きしようという島民の純粹素朴な発想から、瀬戸内海に浮かぶ双鷺洲の美しい自然と人情味豊かな島民に接していただく家族的な大会を企画し、開催しました。

選手の皆さんは、島内の家庭に宿をとり、競技を終え、島を離れるときは「おばあちゃん、来年も来るよ」、「おじさん、来年は順位を上げる鍛錬して来るよ」、「カーブのあの木、邪魔だよ」、「もう少し路上の砂を除いて」等々の喜びの言葉や不慣れな運営の反省に立ち、島民は前回より今回、そして次回は今回以上の大会にしようとの気運が高まり、協議に協議を重ね、改めながら大会を迎えております。

特にトライアスロン競技が2000年のオリンピック種目の仲間入りをしたことにより、トライアスロン協会への参画、公認審判員の採用、外国選手の参加等、当初の企画では考えられなかったグレードの高い大会に変身しました。

各地から参加された選手の皆さんからは、佐木島に来てよかった、島の雰囲気と美しい自然の中、過酷なレースも楽しく競技ができたと評価を得ております。

島民はこれに満足することなく、島民が築き上げていく大会は、過疎が進行する佐木島を元気にし、活力を与え、島民にとって大きな財産となり、島民の誇りと連帯感が更に生まれてくるものと信じ、最大の努力をしております。

終わりに、今年の第10回大会は、全国からの選手、ご家族、応援の皆様をお迎えし、佐木島が海底に沈むぐらいの来島を祈りつつ、ご案内申し上げます。

広島県トライアスロン協会設立5周年に寄せて



蒲刈スイムラン実行委員会会長 木村 善一

広島県トライアスロン協会設立5周年おめでとうございます。

蒲刈スイムラン大会は、1992年、選手選考の厳しいワールドトライアスロンインひろしまの受け皿大会として、町おこしの一環として誕生いたしました。

その後、生名島大会が消滅してからは、その受け皿にもなるよう、Bタイプのコースを新設し、トライアスリートの登竜門として数々のトップアスリートが巣立って行ったことと思います。

トライアスロンは、水泳、バイク、マラソンと過酷な距離に挑み、完走の喜びは想像をはるかに超えるものだと思いますが、近年、耐久レースからタイムレースへと変わりつつあるのも事実です。

完走の喜びの中に、ボランティアとのふれあいというものがありますが、蒲刈大会は、ふれあいあってこそ真の喜びがあると確信し、ランでのふれあいには、学生から老人まで他の大会にはないほど、アットホームな大会として今年8回大会を迎えます。

他県より、リピーターの多い大会は、まさに年に一度の帰省を思わせるほどの温かさがあり、次の大会、今後の練習にも励みになることと思います。

これも、町民が一丸となって迎える気持ちと、広島県トライアスロン協会の援助・協力があってこそ続いて来た大会です。

風光明媚な景色の中、自然に親しめる、人にふれあえる大会として、今年も、蒲刈スイムランをきっかけに、数多くのトライアスリートファンを作りたいと思います。

最後に、広島県トライアスロン協会の益々のご発展をお祈りいたします。

トライアスロンさぎしま大会を思う

三原市中央公民館館長 安森 健司

風光明媚な佐木島も高齢化の波の例外ではなく、少子化と高齢化が急激に進み、島の主要産業である農業とりわけ、みかん・ワケギ・スイカの栽培にも影響を落とし始めていた。時を同じくして島民の間で自然が美しいこの島を利用して、島の活性化と島民のコミュニティ作りができる何か良い取り組みはできないものかと試行錯誤し、浮かび上がったのがトライアスロンさぎしま大会でした。

何故トライアスロンだったのかと言えば、美しく人情味あふれるこの島に全国各地からのアスリート達に来ていただき宿泊をしてもらえることや、島の特産物のメロンを参加賞とすることにより多く生産ができ経済効果も期待できます。この大会を開催することにより全町民がボランティアで参加することにより、何らかの形で関われることによるコミュニティの形成の場の一環として取り組みができ、共通の目的意識の基に町民が力を結集できる大きな成果でもあります。

このような背景により、第1回大会が開催され全国からの愛好者を募集したところ、思いのほか多くの申し込みがあり、300人程度に選考し安全を最優先と考えた大会とし、泳いで・自転車に乗って・走ってタイムと順位を競うお祭りのな大会であり、スポーツ競技とはほど遠い大会が4回大会まで続きました。このような時期に実行委員会や町民の中から全国にアピールできるような大会に方向転換をすべきではないかとの声も多くあり、取り組みをしたのが日本トライアスロン(JTU)連合のルールに沿った大会とし、公認の審判員を招聘して実施することにより全国にアピールできる大会を目指した大会とすることであった。

折りしも、この時期に広島県トライアスロン協会も組織の充実と競技人口の拡大及び普及に力を注いでいる時期であり、この想いが一致し、広島県トライアスロン協会とも連携を蜜にした大会へと変貌し始め、島民の中からも公認審判員をも育成できました。

体育協会や広く一般市民からのボランティア活動の支援も得ながら、大会実行委員会を中心に続けてきたことにより、昨年は全日本学生トライアスロン大会の中・四国・九州ブロックの予餞会を兼ねた大会へと発展するとともにトライアスロンの本場であるニュージーランドからの招待選手を受け入れ、三原からはさぎしま大会の上位入賞者をニュージーランドのギズボン市に派遣するなど国際色豊かな大会になりました。

大会前日には、前夜祭として歌謡ショーや太鼓など盛り沢山の交流会が盛大に開催され、島民と選手間の親睦が図られ、人情味溢れる大会として、また、このトライアスロン大会が全国に広くアピールすることができる大会として、今後も運営されるよう希っています。

設立5周年を思う

—燃えている私のその炎、もっとみんなに燃え移れ—

広島県トライアスロン協会会長 川本 正行

広島県トライアスロン協会設立5周年をお祝いし、一言ご挨拶申し上げます。

1994（平成6）年3月5日、広島県トライアスロン協会設立総会で産声を上げ、31クラブ248人で出発した広島県トライアスロン協会は、現在会員番号が800番を超えています。この5年間は、慌ただしい毎日でしたが、いろいろな場所へ行き、たくさんの方々とお会いし、たいへん充実した5年間でした。広島県トライアスロン協会会長の名刺も600枚配りました。ほんとうにいろいろな方々に助けていただいた5年間でした。広島県トライアスロン協会の設立や運営に携わった人たちは、そんな感慨でいっぱいだと思います。

今年度、広島県内では、「デュアスロンヒロシマ99スプリング」「スイムランinかまがり」「第5回道後山高原トライアスロンキャンプ&レース」「トライアスロン さぎしま」「ビギナーズトライアスロンセミナーinグリーンピア」「デュアスロンヒロシマ99チャンピオンシップ」が計画・実施されています。このほかにも、インドアトライアスロンやソフトトライアスロンや、草の根的な「第2回彩が丘トライアスロン大会」（彩が丘公民館、彩が丘体育協会、彩が丘連合子供会主催）も予定されています。私たちは、これらの大会に参加する選手はもちろんのこと、スタッフやボランティアの方々とともに、「ちょっと苦しいけど、うんと楽しいトライアスロン」の魅力を少しずつでも確実に、身近な人たちに伝えていきたいと思っています。無論、私も選手として全大会に参加するつもりです。（グリーンピア大会は競技委員長です）

トライアスロンは、2000年のシドニーオリンピックの正式種目となり、これからますます発展するスポーツですが、3つの観点から捉える必要があります。1つ目は「観るスポーツとしてのトライアスロン」です。水泳と自転車と長距離走の3種目で争われるトライアスロンは、スポーツとして観戦するととてもおもしろい競技です。2つ目は「競技スポーツとしてのトライアスロン」です。鍛え抜かれた肉体と精神を持った選手には、優勝の栄冠を目指し、自己の限界に挑戦する過酷な競技です。3つ目は「生涯スポーツとしてのトライアスロン」です。自分のペースで、自分に克つことを目標に健康のために練習を持続させる競技です。この5年間は、トライアスリート＝鉄人、という思い込みが一般の人々に多く、普及の妨げとなっていました。これからは、この3つの観点を基に、トライアスロンに関わってくれる人たちを増やしていきたいものです。

6年目を迎える広島県トライアスロン協会は、谷口理事長のもとに、会員一同が一致団結して、様々な事業を推進していくことと思います。5周年記念として、今年度は上記の大会の他に、ビッグイベントとして、「瀬戸内海横断しまなみ'99チャレンジスイム」を計画しております。「前人未踏の瀬戸内海人カスイム横断にチャレンジしよう」というテーマで、トライアスリートが協力してスイムリレーで瀬戸内海を横断する事と思います。

広島県トライアスロン協会の過去5年間と未来に対して、皆様のご協力とご支援を感謝しつつ、なおいっそうのご協力とご支援をお願いして、記念の言葉といたします。

県協会の設立にいたるまで

広島県トライアスロン協会前理事長 吉村 光俊

昨年('93年の意)7月4日のワールドトライアスロンイン広島のレース直後に、ゴール付近で弁当・ビール・カップラーメンの交流会を催しました。「とにかく寄ってトライアスロンの話でもして懇親しようや。」というものでした。それでも三々五々、60名集まりました。

8月6日、未明にもかかわらず、広島から長崎までのピースランを県西部のトライアスリートを中心にサポートしました。このピースランの交流会で「是非、広島県にトライアスロン協会を作ろう」という話が出ました。

そこで、9月30日に県西部、10月8日に県東部で、クラブ代表者に集まっていたら、組織作りについて意見を出し合いました。そこでは、

- ①トライアスロンをスポーツとして確立させよう。
- ②社会的認知を得なければ、トライアスロンの未来はない。
- ③自分で出て楽しむばかりでなく、大会やスポーツ組織を支えていかなければ発展はない。
- ④連合に関しては、東京の動きが伝わって来ないこともあり、当分静観する。
- ⑤世話人会を作り、設立までの取りまとめを行う。

ということが話し合われました。

12月5日に行われた広島大学のフェニックス駅伝に、協会準備会で2チーム参加したその後の交流会で、九州から駆けつけられた竹永興一氏の連合を巡る全国の状況説明で、一同びっくり。

- ①地方の組織化が進んでいない現状では、中央の商業主義や主導権争いを許してしまう。
- ②警察庁は、連合を交渉相手と認知するとともに大会の道路使用許可に枠をはめようとしている。
- ③各地の大会申込に連合登録者に限定されるかもしれない。

以上のような話を受けて、「当分静観」から「連合結成の動きに合わせて早急に設立へ」と確認し合いました。

Xデーを3月5日に設定しながら1月下旬から会員募集を始め、3回のクラブ代表者会議、7回の世話人会を開催し、動きを進めて来ました。理論や議論だけでは組織の発展はないだろう。具体的なトライアスリートのメリットのために、県協会が主体となって大会を実施するという結論から、広島県及び中国新聞に御協力をいただいて、9月4日に中央森林公園で、広島県トライアスロン協会設立記念のデュアスロン大会を開催する運びになりました。

設立総会の時に、31クラブ、248名の登録者と共に出発することができました。県協会ができたといっても役員を始め全員1年生の集まりです。関係者団体、個人の協力を得て、手弁当手探りで進めて行かねばなりません。この組織が何をしてくれるのではなく、私達がトライアスロンというスポーツが好きで、これからも発展させて行こうとするなら「トライアスロンの伝導者」になって行きましょう。

(注：本文は1994年3月5日、広島弥生会館で開催された「広島県トライアスロン協会設立総会」の席上で設立趣旨説明として、吉村理事長が説明した原文をそのまま掲載しました。)

県協会5年、これからも

広島県トライアスロン協会顧問 荒井 貞光

もう10年くらい経ったのかと思っていた。まだ、5年なんだ。それにしても、県協会の設立前後から現在まで、トライアスロンに関係したおかげで実に多くのいろいろな人と知り合うことができた。これが一番の宝です。ありがたいことです。

先週の日曜の夜は、広島大のトラ部が留学中のドイツ人青年の送別会をやるというので山の上の公園にテントを張り、そこで飲んだ。実にはぎやかな楽しい宴であった。宴が楽しいうちは、そのクラブや組織も健全で楽しいという法則がなりたちそうな気がする。県協会ができて直ぐの春の花見酒を吉村さんの事務所でやった時も、その宴は楽しく活気があった。おじさんやお兄さん達の顔は夢で上気していた。立ち上げ酒とでも言ったらよいかもしれないなあ。

しかし、立ち上げ酒のパラドクスは、楽しいのは誠によいが、それが続くと疲れが増してしまうことで、次第に身内酒というか仲間うちだけでひっそりとやるようになることである。この飲み方もそれなりにはよいが、やはり立ち上げ酒の活気には及ばないので、どうしても2回に1回、3回に1回の宴のセットアップになる。相関して、会議や仕事も安定はしますがマンネリ化してしまう。

昨夜は久々に市内で中国人留学生たちと飲んだ。5～6人であったが、初めて飲むメンバーなので緊張もしたがそれがほどけていく快楽酒に酔いがひどく、従って今、こうして書いているが何を書いているかわからない。トライアスロンの協会5年のお祝い原稿であった。5年間には、いろいろトラブルや無理があったろうが、これからは更に面倒なことが起きてこよう。立ち上げ酒の快楽を忘れないでやりましょう。学生アスリーツに社会人酒の苦勞を教えてやってください。乾杯！ 県トラ協，5年間，これからもよろしく!!

県内大会の概要と記録（'94～'98年度）

ワールドトライアスロンインひろしま

【大会概要】

'95ひろしまは変わる10万人委員会の主催で、1986年、広島県内で初めてのトライアスロン大会となった「ワールドトライアスロンインひろしま」は、ボランティア、自衛隊、警察、医療機関等、多数の関係諸団体の協力により進められた。

コースはスイムが海上自衛隊第1術科学校から江田島湾を横断する2.6km、バイクは能美島～江田島～倉橋島を走る103.7km、ランは呉市中央公園をゴールとする25.3kmと1市6町を通過する国内屈指の起伏の激しいワンウェイコースであった。

1995年の第10回大会を最後に全国の多くのトライアスリートに惜しまれながらも、10万人委員会の解散とともに大会の幕が降ろされた。



【大会記録】

'94年（第9回大会 7月3日開催 S:2.6km,B:103.7km,R:25.3km）

クラス	順位	氏名	年齢	所属	総合記録	SWIM	BIKE	RUN
男子	1位	北里 信雄	29	福岡県	05:10:40	00:35:26	02:53:33	01:41:41
	2位	河村 政勝	34	山口県	05:19:56	00:39:29	02:55:57	01:44:30
	3位	鈴木 照行	21	愛知県	05:22:26	00:40:14	02:52:51	01:49:21
女子	1位	村上 純子	30	北海道	06:03:16	00:44:14	03:10:14	02:08:48
	2位	小椋よう子	26	岡山県	06:34:04	00:51:45	03:35:25	02:06:54
	3位	三好 愛	22	奈良県	06:38:50	00:41:47	03:29:40	02:27:23

'95年（第10回大会 7月9日開催 S:2.6km,B:103.7km,R:25.3km）

クラス	順位	氏名	年齢	所属	総合記録	SWIM	BIKE	RUN
男子	1位	ブルース トマス	30	AUS	05:10:25	00:33:03	02:46:08	01:51:14
	2位	柴田 卓也	22	愛知県	05:11:53	00:36:19	02:52:23	01:43:11
	3位	北里 信雄	30	福岡県	05:17:14	00:36:17	02:56:52	01:44:05
女子	1位	坂根 三佳	25	京都府	06:08:08	00:39:37	03:23:50	02:04:41
	2位	加藤由記子	32	愛知県	06:46:00	00:48:01	03:41:18	02:16:41
	3位	鈴木 秀子	32	大阪府	06:49:00	00:46:06	03:34:24	02:28:30



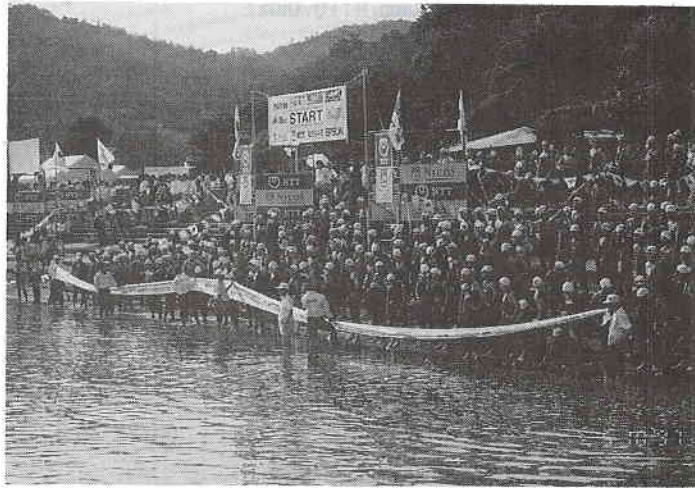
瀬戸内マリンブルートライアスロン

【大会概要】

「ワールドトライアスロンインひろしま」大会を受け継いで、1996年、新たにリニューアルし、「瀬戸内マリンブルートライアスロン」大会として誕生した。

コースは当初、ひろしま大会とほぼ同じ（バイクのみ85.0kmに短縮された）であったが、1997年の第3回日本選手権で51.5kmのオリンピックディスタンスとなった。

しかし、この大会も折からの経済不況の影響等もあって、日本選手権を最後に残念ながら大会の幕が閉じられた。



【大会記録】

'96年(第1回 7月7日開催 S:2.6km,B:85.0km,R:25.3km)

クラス	順位	氏名	年齢	所属	総合記録	SWIM	BIKE	RUN
男子	1位	松下 篤史	23	大阪府	04:36:41	00:39:33	02:19:04	01:38:04
	2位	村瀬 浩	32	愛知県	04:41:32	00:42:29	02:24:08	01:34:55
	3位	福元 哲郎	24	広島県	04:51:01	00:36:43	02:27:00	01:47:18
女子	1位	ジョー モーセイ	33	NZ	05:30:14	00:44:31	02:40:41	02:05:02
	2位	増田 志保	32	愛知県	05:49:58	00:48:35	02:51:29	02:09:54
	3位	三好 愛	22	広島県	05:56:43	00:39:22	02:54:02	02:23:19

'97年(10月5日開催 S:1.5km,B:40.0km,R:10.0km)

第3回日本トライアスロン選手権

クラス	順位	氏名	年齢	所属	総合記録	SWIM	BIKE	RUN
男子	1位	星野 健一	25	東京都	01:54:32	00:22:33	00:59:59	00:32:00
	2位	マイケル トリス	35	茨城県	01:55:42	00:22:21	01:00:10	00:33:11
	3位	小原 工	30	鳥取県	01:56:07	00:20:29	01:02:06	00:33:32
女子	1位	中西真知子	21	愛知県	02:10:49	00:21:19	01:10:56	00:38:34
	2位	志垣めぐみ	23	宮崎県	02:12:55	00:24:42	01:11:54	00:36:19
	3位	半田 恵理	20	埼玉県	02:15:18	00:23:36	01:13:07	00:38:35

瀬戸内マリンスポーツトライアスロン(第2回大会)

クラス	順位	氏名	年齢	所属	総合記録	SWIM	BIKE	RUN
男子	1位	アレクシス トレイク	21	NZ	02:02:38	00:20:56	01:04:31	00:37:11
	2位	高橋 泰夫	30	岡山県	02:06:23	00:26:33	01:04:00	00:35:50
	3位	伊佐川真紀	26	山口県	02:10:02	00:25:51	01:08:02	00:36:09
女子	1位	マリ カタ-	25	NZ	02:17:37	00:21:25	01:11:43	00:44:29
	2位	福山 智代	17	東京都	02:24:47	00:23:47	01:15:46	00:45:14
	3位	内藤美津子	20	広島県	02:27:44	00:23:20	01:19:00	00:45:24

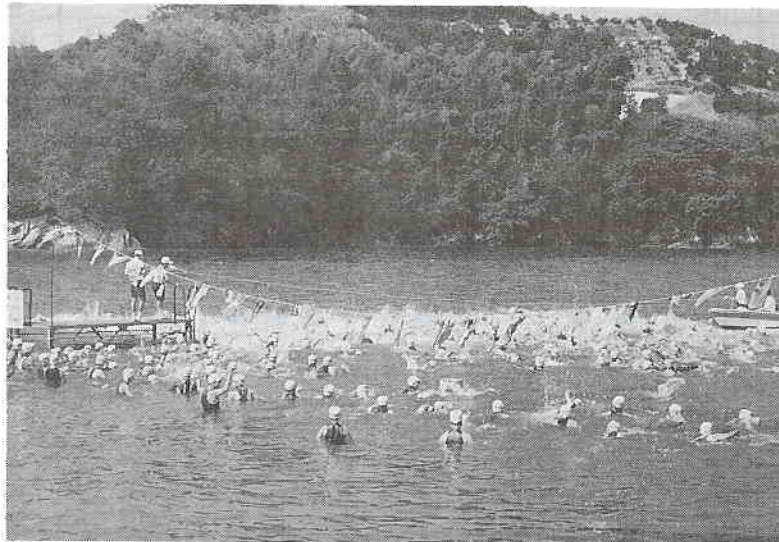


トライアスロンさぎしま

【大会概要】

1990年、瀬戸内海に浮かぶ風光明媚な佐木島の美しい自然と人情味豊かな島民に接する家族的な大会として島の活性化をかけて開催された「トライアスロンさぎしま」は、選手一人一人が島民とのコミュニティを楽しみ、全島民がボランティアで参加するといったアットホームな大会である。

コースは、波静かな向田港内を泳ぎ、バイク・ランは島を周回する設定である。距離は、試行錯誤を重ね、'95年からスイム1.5km、バイク42km、ラン10kmのオリンピックディスタンスに近い設定となった。'98年には日本学生選手権中国・四国・九州ブロック予選会となったほか、ニュージーランドからの県協会招待選手も出場した。



【大会記録】

'94年(第5回大会 8月28日開催 S:1.2Km,B:36.0Km,R:12.0Km)

部門	氏名	総合記録	SWIM	BIKE	RUN
一般	近藤 治男	01:59:13	00:18:40	00:54:11	00:46:22
50歳以上	越野 正征	02:15:13	00:22:28	00:58:28	00:54:17
女性	岡寺 ちさ	02:26:48	00:19:45	01:05:10	01:01:53

'95年(第6回大会 8月27日開催 S:1.5Km,B:42.0Km,R:10.0Km)

部門	氏名	総合記録	SWIM	BIKE	RUN
一般	福元 哲郎	02:20:50	00:29:56	01:11:56	00:38:58
50歳以上	越野 正征	02:44:55	00:34:29	01:22:02	00:48:24
女性	田中 摩美	02:54:40	00:28:24	01:30:28	00:55:48

'96年(第7回大会 9月1日開催 S:1.5Km,B:42.0Km,R:10.0Km)

部門	氏名	総合記録	SWIM	BIKE	RUN
一般	福元 哲郎	02:19:34	00:26:15	01:12:11	00:41:08
50歳以上	越野 正征	02:42:44	00:34:38	01:21:17	00:46:49
女性	坂根 三保	02:49:02	00:31:44	01:26:37	00:50:41

'97年(第8回大会 8月31日開催 S:1.5Km,B:42.0Km,R:10.0Km)

部門	氏名	総合記録	SWIM	BIKE	RUN
一般	タケノコ・マツコ	02:11:47	00:26:58	01:06:47	00:38:02
50歳以上	足立 秀男	02:45:05	00:34:28	01:22:17	00:48:20
女性	坂根 三保	02:44:24	00:30:54	01:25:41	00:47:49

'98年(第9回大会 8月23日開催 S:1.5Km,B:42.0Km,R:10.0Km)

部門	氏名	総合記録	SWIM	BIKE	RUN
一般	タケノコ・マツコ	02:12:43	00:26:49	01:07:31	00:38:23
	福元 哲郎	02:14:31	00:24:53	01:08:46	00:40:52
	高橋 功	02:19:09	00:27:06	01:08:07	00:43:56
50歳以上	越野 正征	02:40:13	00:33:14	01:18:32	00:48:27
	足立 秀男	02:42:28	00:33:50	01:21:07	00:47:31
	津野瀬 武久	02:45:25	00:35:03	01:19:48	00:50:34
女性	ニール・コープ	02:25:10	00:28:50	01:11:27	00:44:53
	宇都宮 晶	02:42:11	00:30:29	01:20:32	00:51:10
	唐木 由紀	02:45:41	00:35:15	01:22:44	00:47:42
学生	永田 成也	02:12:55	00:24:38	01:09:03	00:39:14
	丸山 秀登	02:20:39	00:26:04	01:12:16	00:42:19
	高浜 邦晃	02:24:36	00:25:23	01:13:31	00:45:42

ジュニアトライアスロンINのうみ

【大会概要】

1992年に県内で初めてジュニア（小中学生）を対象としたトライアスロン大会として誕生した「ジュニアトライアスロンINのうみ」は、JTUも主催者としてバックアップを行っており、広島県のトライアスロン競技の普及と将来のトライアスロン界を担う選手の育成に大きな役割を果たして来た。

コースは、ひろしま大会のスイムゴールとして馴染み深い能美海上ロッジを中心に設定されている。カテゴリーもAからCまで小学1年生から中学3年生まで幅広く分けており、Aタイプがスイム100m・バイク5km・ラン1km、Bタイプがスイム150m・バイク5km・ラン1.5km、Cタイプがスイム200m・バイク10km・ラン2kmとなっている。

'97年大会は台風の接近により残念ながら中止となったが、'98年にはこれまで男性が行っていた審判長を女性に変え、審判員も女性をメインに構成したところ、選手と保護者から親しみやすく、話しかけやすいとして大変好評であった。



【大会記録】（各クラス別優勝者）

'94年（第3回大会：7月31日開催）

タイ プ	クラス	性別	氏名	出身地	総合タイム	クラス	性別	氏名	出身地	総合タイム
A	小1	男	服部 真吾	静岡	27' 43"	小1	女	山田 桃子	広島	29' 47"
	2	〃	守田 拓郎	岩国	21' 11"	2	〃	吉村 志保	兵庫	26' 46"
	3	〃	関 拓郎	香川	22' 13"	3	〃	石垣 未来	静岡	23' 41"
B	4	〃	青木 大輔	兵庫	23' 45"	4	〃	道先 香子	広島	29' 58"
	5	〃	平野 司	大阪	21' 35"	5	〃	大岡裕美子	呉	24' 59"
	6	〃	荒木 大洋	奈良	20' 24"	6	〃	市川 美帆	高知	26' 23"
C	中1	〃	酒井 厚輝	呉	30' 53"	1	〃	中川 絵里	名古屋	32' 17"
	2	〃	楠 直樹	徳島	32' 00"	2	〃	浜本 明子	呉	37' 41"
	3	〃	檜木 俊孝	呉	29' 33"	3	〃	東野 望生	大阪	34' 14"

'95年（第4回大会：7月30日開催）

タイ プ	クラス	性別	氏名	出身地	総合タイム	クラス	性別	氏名	出身地	総合タイム
A	小1	男	松丸 優一	広島	26' 56"	小1	女	石垣 夢果	静岡	23' 06"
	2	〃	若狭 大希	広島	23' 21"	2	〃	中島 瞳	岐阜	23' 56"
	3	〃	東 洋平	広島	20' 07"	3	〃	田中奈津美	呉	21' 58"
B	4	〃	平野 裕	大阪	20' 59"	4	〃	守田 朱里	山口	22' 46"
	5	〃	青木 大輔	兵庫	20' 10"	5	〃	楠 里紗	徳島	21' 07"
	6	〃	平野 司	大阪	19' 04"	6	〃	大岡裕美子	呉	23' 39"
C	中1	〃	門屋 良	愛知	29' 36"	1	〃	佐々木真悠	呉	37' 32"
	2	〃	酒井 厚輝	呉	28' 03"	2	〃	中川 絵里	名古屋	31' 42"
	3	〃	小中 裕也	兵庫	28' 21"	3	〃	浜本 明子	呉	34' 45"

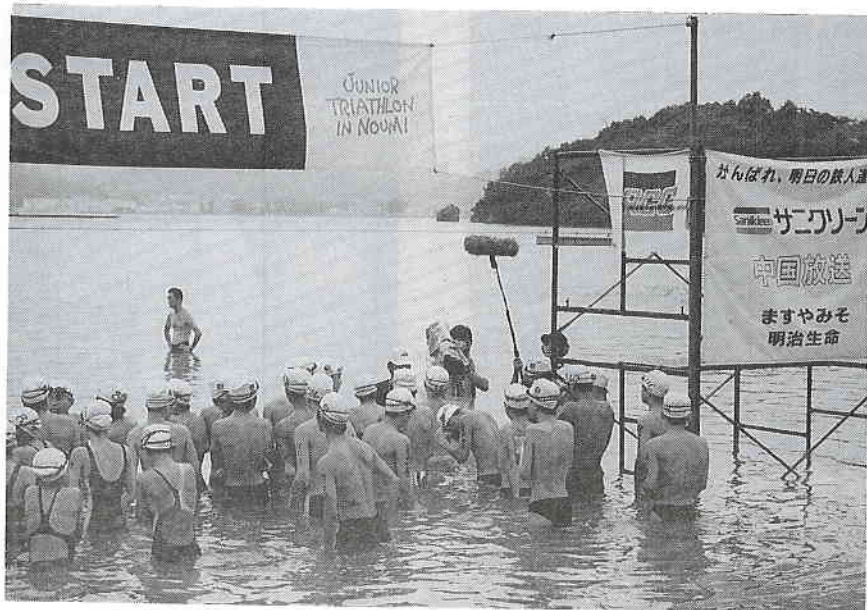
'96年（第5回大会：7月28日開催）

タイ プ	クラス	性別	氏名	出身地	総合タイム	クラス	性別	氏名	出身地	総合タイム
A	小1	男	藤野 泰一	岡山	25' 29"	小1	女	道先 明子	広島	26' 55"
	2	〃	門屋 友貴	愛媛	25' 03"	2	〃	松岡 春佳	広島	23' 58"
	3	〃	新井 祐輔	香川	22' 39"	3	〃	山田 桃子	静岡	22' 55"
B	4	〃	井村 勇也	広島	21' 48"	4	〃	淵瀬真寿美	兵庫	25' 27"
	5	〃	南 昌宏	愛媛	21' 35"	5	〃	原 則子	広島	22' 20"
	6	〃	青木 大輔	兵庫	20' 24"	6	〃	中川 雅美	兵庫	22' 27"
C	中1	〃	平野 司	大阪	29' 26"	1	〃	大岡裕美子	広島	37' 44"
	2	〃	荒木 大洋	奈良	28' 08"	2	〃	市川 美帆	高知	34' 52"
	3	〃	酒井 厚輝	呉	30' 00"	3	〃	西井 春菜	高知	35' 48"

'97年（第6回大会：台風のため中止）

'98年(第7回大会:7月26日開催)

タイ プ°	クラス	性別	氏名	出身地	総合タイム	クラス	性別	氏名	出身地	総合タイム
A	小1	男	吉村 純平	兵庫	24' 00"	小1	女	丸吉 未紗	広島	32' 09"
	2	//	大矢 格	山口	23' 29"	2	//	堀井 千紘	大阪	27' 05"
	3	//	藤野 泰一	岡山	20' 30"	3	//	山岡 佳奈	兵庫	21' 09"
B	4	//	安積 佑太	大阪	21' 44"	4	//	石垣 夢果	静岡	21' 29"
	5	//	正月雄一郎	大阪	20' 45"	5	//	山田 桃子	広島	21' 25"
	6	//	井村 勇也	竹原	18' 45"	6	//	山岡 由果	兵庫	19' 55"
C	中1	//	西村 賢	呉	32' 38"	1	//	守田 朱里	山口	31' 07"
	2	//	東野 翔	大阪	27' 36"	2	//	山岡 未樹	兵庫	32' 15"
	3	//	平野 司	大阪	25' 52"	3	//	佐々木文乃	広島	34' 45"



道後山高原トライアスロン キャンプ&レース

【大会概要】

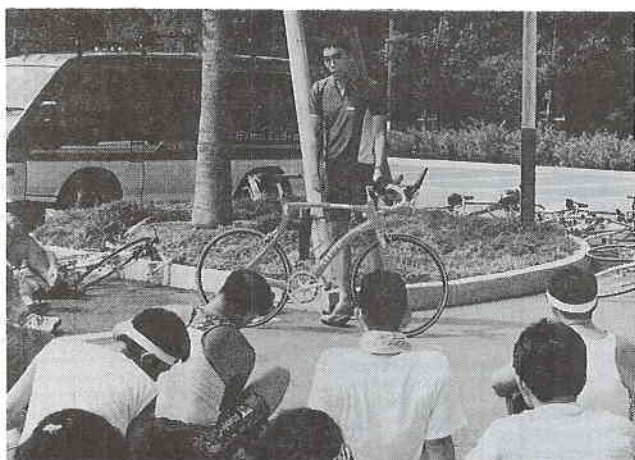
1995年、標高700mに位置し、真夏でも涼しく快適な道後山高原クロカンパークを利用して生まれた「道後山高原トライアスロンキャンプ&レース」は、文字通りキャンプとレースを一度に両方楽しめるという欲張りな大会である。

プロトライアスリートの山倉和彦・紀子夫妻を招いてのクリニックは、昼に実技、夜は講演会を行い、トライアスロン入門編からプロのトライアスリートを目指す人まで、すべての希望者を対象に行われる全国でもユニークな大会である。キャンプ広場では、地元特産のバザーも開店する。

コースはすべて園内で設定してあるので、小学生やトライアスロン初心者にも安心して参加できる大会である。

カテゴリーはスイム0.1km、バイク5km、ラン1kmから51.5kmのオリンピックディスタンスまで、5つのタイプが設定されており、子供から大人まで家族揃って参加できる大会である。

'97年の第3回大会からはニュージーランドより2名のジュニア選手を招待し、大会を盛り上げている。また、'98年にはJTU中国ブロック選手権が開催された。



【大会記録】(各クラス別優勝者)
 '95年(第1回大会:8月20日開催)

クラス	氏名	年齢	総合記録	SWIM	BIKE	RUN
1-ジュニア(男子)	山口 貴哉	9	00:19:21	00:03:37	00:11:04	00:04:40
1-ジュニア(女子)	田中奈津美	9	00:23:31	00:04:15	00:13:50	00:05:26
1-ジュニアハイ(男子)	丸山 知貢	12	00:28:48	00:03:43	00:15:36	00:09:29
1-ジュニアハイ(女子)	楠 里紗	10	00:31:35	00:04:11	00:16:16	00:11:08
1-ジュニア(男子)	酒井 厚輝	13	00:34:21	00:04:05	00:18:14	00:12:02
1-ジュニア(女子)	中川 絵理	14	00:39:14	00:04:30	00:19:14	00:15:30
ジュニア(男子)	丸山 秀登	18	01:13:18	00:14:09	00:36:38	00:22:31
ジュニア(女子)	荒木 美雪	15	01:23:34	00:17:03	00:39:27	00:27:04
一般(女子)	田川 陽子	25	01:31:30	00:20:05	00:46:11	00:25:14
一般(男子)	福元 哲郎	23	01:06:29	00:15:17	00:32:56	00:18:16

'96年(第2回大会:8月18日開催)

クラス	氏名	年齢	総合記録	SWIM	BIKE	RUN
1-ジュニア(男子)	三好青史郎	9	00:22:57	00:04:10	00:12:28	00:06:19
1-ジュニア(女子)	石垣 夢果	8	00:21:12	00:02:56	00:12:46	00:05:30
1-ジュニアハイ(男子)	青木 大輔	12	00:26:50	00:02:31	00:15:52	00:08:27
1-ジュニアハイ(女子)	楠 里紗	11	00:30:09	00:02:51	00:17:04	00:10:14
1-ジュニア(男子)	三宅 大貴	14	00:34:42	00:03:32	00:18:55	00:12:15
1-ジュニア(女子)	細田 彩	14	00:40:29	00:04:02	00:21:54	00:14:33
ジュニア(男子)	浜本 正明	17	01:10:46	00:16:09	00:34:55	00:19:42
ジュニア(女子)	三浦 佳子	18	01:23:17	00:16:58	00:41:52	00:24:27
一般(女子)	田川 陽子	26	01:23:46	00:17:26	00:41:34	00:24:46
一般(男子)	福元 哲郎	24	01:04:38	00:11:51	00:34:07	00:18:40

'97年(第3回大会:8月22日開催)

クラス	氏名	年齢	総合記録	SWIM	BIKE	RUN
1-ジュニア(男子)	田中 久登	9	00:22:18	00:02:31	00:14:06	00:05:41
1-ジュニア(女子)	石垣 夢果	9	00:19:55	00:02:17	00:12:32	00:05:06
1-ジュニアハイ(男子)	美馬 謙太	12	00:27:30	00:02:45	00:16:01	00:08:44
1-ジュニアハイ(女子)	守田 朱里	12	00:28:17	00:02:39	00:15:48	00:09:50
1-ジュニア(男子)	三宅 大貴	15	00:34:07	00:03:14	00:18:43	00:12:10
1-ジュニア(女子)	市川 未帆	14	00:41:00	00:03:49	01:21:29	00:15:42
ジュニア(男子)	児玉 誠治	17	01:09:12	00:10:34	00:35:41	00:22:57
ジュニア(女子)	中川 絵理	16	01:11:14	00:10:52	00:37:47	00:22:35
一般(女子)	加藤真沙美	20	03:00:36	00:26:25	01:29:32	01:04:39
一般(男子)	松崎 隆幸	23	02:20:39	00:24:55	01:09:32	00:46:12

'97年中国ブロック選手権

部 門	氏 名	年 齢	総合記録	SWIM	BIKE	RUN
ジュニア (男子)	ケリン アンダーソン	17	02:08:55	00:20:24	01:06:21	00:42:10
ジュニア (女子)	寺尾 佳子	19	03:26:47	00:33:48	01:36:19	01:16:40
エリート (男子)	丸山 秀登	20	02:11:22	00:22:01	01:10:02	00:39:19
エリート (女子)	小椋よう子	30	02:34:32	00:31:08	01:17:59	00:45:25

'98年 (第4回大会: 8月2日開催)

クラス	氏 名	年 齢	総合記録	SWIM	BIKE	RUN
1-ジュニア (男子)	藤野 泰一	9	00:20:35	00:02:54	00:13:28	00:04:13
1-ジュニア (女子)	宮本 美咲	9	00:22:10	00:03:17	00:13:56	00:04:57
1-ジュニアM (男子)	井村 勇也	12	00:27:56	00:03:03	00:16:23	00:08:30
1-ジュニアM (女子)	伊谷 温子	10	00:31:30	00:03:17	00:18:02	00:10:11
1-ジュニア (男子)	平野 司	15	00:32:15	00:02:56	00:17:22	00:11:57
1-ジュニア (女子)	守田 朱里	13	00:37:29	00:03:19	00:20:06	00:14:04
ジュニア 25.75 (男子)	三宅 大貴	16	01:06:51	00:12:57	00:35:21	00:18:33
ジュニア 25.75 (女子)	中川 絵理	17	01:10:24	00:11:23	00:36:48	00:22:13
ジュニア 51.5 (男子)	三宅 大貴	16	02:32:29	00:25:17	01:21:35	00:45:37
ジュニア 51.5 (女子)	ヤネ オエン	16	02:31:26	00:25:16	01:17:38	00:48:32
一般 25.75 (女子)	ジョイ ジャーマン	29	01:22:24	00:15:50	00:39:56	00:26:38
一般 25.75 (男子)	ポール ウォルシュ	30	01:06:21	00:13:22	00:34:42	00:18:17
一般 51.5 (女子)	森 貴子	26	02:29:25	00:27:24	01:18:32	00:43:29
一般 51.5 (男子)	多田 光昇	24	02:16:39	00:22:20	01:14:06	00:40:13

'98年中国ブロック選手権

部 門	氏 名	年 齢	総合記録	SWIM	BIKE	RUN
ジュニア (男子)	山口 伸治	19	01:08:02	00:12:44	00:34:54	00:20:24
エリート (男子)	高橋 泰夫	31	02:08:34	00:26:19	01:05:15	00:37:00
エリート (女子)	宇都宮 晶	21	02:32:08	00:27:19	01:17:25	00:47:24



スイムランinかまがり

【大会概要】

瀬戸内海の美しい県民の浜をメイン会場として開催される「スイムランinかまがり」大会は、その名のとおりスイムとランのアクアスロンで、離島の活性化を目的に1992年から始まり1998年で7回目を数えた。

コースはスイムが波静かな県民の浜海水浴場に沿って横にコースブイを張り、1周600mの周回コースを設定している。ランは美しい海岸線沿いをメインに走る比較的フラットなコースであるが、Aタイプは後半に峠超えの急な厳しい坂が待ち受けている。

カテゴリーは第3回大会までは1タイプであったが、第4回大会から2タイプとなり、現在、距離はAタイプ(S:2.4km/R:28.5km)、Bタイプ(S:1.0km/R:10.0km)となっている。

【大会記録】

'94年(第3回大会 S:1.8km R:28.5km)

クラス	氏名	年齢	現住所	総合記録	SWIM	RUN
男子39歳以下	沖 順一	39	広島県	02:25:46	00:37:56	01:47:50
男子40歳以上	平本 雅芳	40	広島県	02:30:00	00:37:13	01:52:47
女子	半田 祐子	34	大阪府	03:01:47	00:50:32	02:11:15

'95年(第4回大会 A:S:1.8km R:28.5km B:S:0.6km R:10.0km)

ﾀｲﾌﾟ	クラス	氏名	年齢	現住所	総合記録	SWIM	RUN
A	男子39歳以下	高橋 弘之	30	岡山県	02:23:28	00:37:25	01:46:03
	男子40歳以上	坂根 啓一	44	広島県	02:26:25	00:32:17	01:54:08
	女子	加藤 由紀	32	愛知県	02:51:15	00:38:54	02:12:21
B	総合	松本 有司	32	広島県	00:52:08	00:12:48	00:39:20

'96年(第5回大会 A:S:1.8km R:28.5km B:S:0.6km R:10.0km)

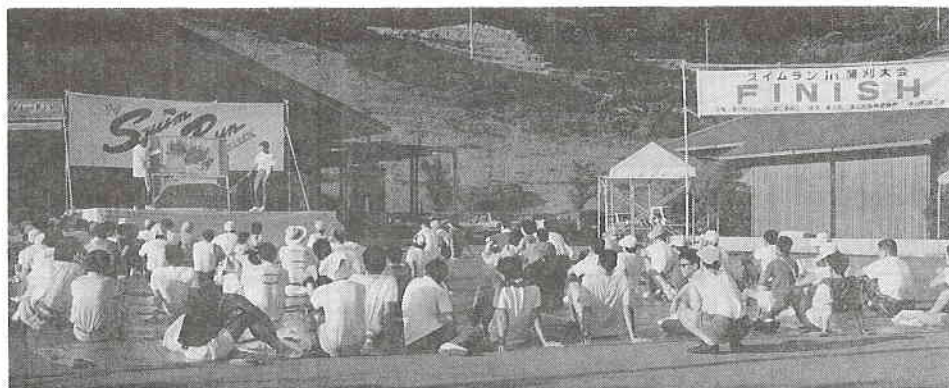
ﾀｲﾌﾟ	クラス	氏名	年齢	現住所	総合記録	SWIM	RUN
A	男子39歳以下	北村 成司	31	兵庫県	02:18:45	00:31:06	01:47:39
	男子40歳以上	坂根 啓一	45	広島県	02:25:01	00:31:12	01:53:49
	女子	坂根 美保	21	広島県	02:54:32	00:32:50	02:21:42
B	男子	高橋 弘之	30	岡山県	00:57:08	00:19:39	00:37:29
	女子	香川登志子	24	広島県	01:05:25	00:18:17	00:47:08

'97年(第6回大会 A:S:2.4km R:28.5km B:S:1.0km R:10.0km)

ﾀｲﾌﾟ	クラス	氏名	年齢	現住所	総合記録	SWIM	RUN
A	男子39歳以下	風岡 正仁	28	愛知県	02:30:48	00:43:28	01:47:20
	男子40歳以上	戸田 義久	47	山口県	02:35:27	00:41:29	01:53:56
	女子	坂根 美保	22	広島県	03:03:39	00:45:33	02:18:06
B	男子	福元 哲郎	25	広島県	00:52:02	00:17:18	00:34:44
	女子	ｼﾞｮｲ ｼﾞｬｰﾏﾝ	28	広島県	01:12:30	00:21:26	00:51:04

'98年(第7回大会 A:S:2.4km R:28.5km B:S:1.0km R:10.0km)

ﾀｲﾌﾟ	ｸﾗｽ	氏 名	年 齢	現住所	総合記録	SWIM	RUN
A	男子39歳以下	松山 高穂	26	奈良県	02:32:34	00:41:43	01:50:51
	男子40歳以上	沖 順治	43	広島県	02:39:30	00:49:10	01:50:20
	女 子	宇都宮 晶	21	広島県	02:57:01	00:43:29	02:13:32
B	男 子	ポール ウォルシュ	30	広島県	00:54:00	00:17:20	00:36:40
	女 子	ジョイ ジャーマン	29	広島県	01:10:16	00:20:00	00:50:16



ビギナーズトライアスロンセミナー IN グリーンピア

《大会概要》

トライアスロンを誰でも気軽に参加し楽しめるようにコースの距離は短くし、トライアスロンの基本ルールを守りながら競技としての体験を生かせるような大会として、地元の呉麓女（くれうめ）トライアスロンクラブが、'98年に豊田郡安浦町にある「グリーンピア安浦」で初めて開催した。特にトライアスロンの普及とともに底辺拡大を目的としている大会で今後、歴史を刻んで行きたい。

クラスA（小1・2年）・・・S:0.025km, B:1.0km, R:0.5km

クラスB（小3・4年）・・・S:0.05km, B:2.0km, R:0.7km

クラスC（小5・6年）・・・S:0.1km, B:3.0km, R:1.0km

クラスD（中学生）・・・S:0.3km, B:5.0km, R:2.0km

クラスE（高校・一般）・・・S:0.4km, B:10.0km, R:3.0km

《大会記録》（各クラス優勝者）

'98年（9月6日開催：参加人数66名）

クラス	氏名	性別	学年	総合タイム
A	白元 愛美	女	2年	00:08:20
B	横竹 翔	男	3年	00:11:11
C	岡原 優太	男	6年	00:14:41
D	正木 啓介	男	2年	00:26:06
E	広瀬 興	男	23才	00:45:14



デュアスロンヒロシマ

【大会概要】

1994年、広島県トライアスロン協会設立記念行事として産声を上げた「デュアスロンヒロシマ」も'98年で第5回目を数え、広島県内のトライアスロン関連競技大会を締めくくる大会として位置付けられている。

大会会場は、'94年に開催された広島アジア大会の自転車競技（個人ロード）会場となった「広島県立中央森林公園サイクリングロード」である。

このコースは、広島県のほぼ中央部の大自然に囲まれた広島空港を取り囲むように造られた1周12.3km、高低差111m、最大勾配上り12%、下り10%という全国屈指の本格的自転車専用コースを使用している。

'96年には、パワーマンジャパン大会を招致し、デュアスロンで世界トップのケン・スーザ選手をアメリカより招聘した。

'98年からは、再び設立当初の原点に帰り、県協会会員向けの大会としたが、国際交流の芽は継承すべく、米軍岩国基地との日米親善カップとなった。。



【大会記録】

‘94年(9月4日開催 A:5.0km+36km+5.0km, B:2.5km+12km+2.5km)

クラス	順位	氏名	年齢	総合記録	1st RUN	BIKE	2nd RUN
A	1位	竹本 茂	29	01:38:28	00:17:55	01:01:22	00:19:11
	2位	佐谷 則夫	28	01:38:49	00:17:07	01:02:16	00:19:26
	3位	寒川 義雄	37	01:40:30	00:17:12	01:04:12	00:19:06
B	1位	田辺 一成	28	00:44:31	00:11:53	00:23:03	00:09:35
	2位	若山 直樹	21	00:44:49	00:12:21	00:21:33	00:10:55
	3位	浜本 正明	15	00:45:14	00:12:40	00:23:16	00:09:18

‘95年(9月10日開催 A:5.0km+36km+5.0km, B:2.5km+12km+2.5km,
D:C:1.0km+3.3km+1.0km)

クラス	順位	氏名	年齢	総合記録	1st RUN	BIKE	2nd RUN
A	1位	高木 真司	33	01:41:17	00:18:20	01:03:20	00:19:37
	2位	伊佐川貴紀	24	01:42:20	00:17:56	01:05:09	00:19:15
	3位	鳥羽瀬憲久	34	01:43:27	00:17:18	01:06:37	00:19:32
B	1位	福元 哲郎	23	00:38:17	00:08:11	00:20:54	00:09:12
	2位	中島 崇智	18	00:39:09	00:08:02	00:21:53	00:09:12
	3位	小中 裕也	15	00:40:56	00:08:29	00:23:18	00:09:09
C	1位	谷口泰二郎・薫	13/45	00:13:41	00:04:00	00:05:49	00:03:52
	2位	永田 祐一・守	10/39	00:15:14	00:04:20	00:07:04	00:03:50
	3位	井村 勇也・勇作	9/35	00:15:37	00:04:05	00:07:28	00:04:04

‘96年(10月6日開催 A:5.0km+49.2km+5.0, B:5.0km+36km+5.0km,
C:2.5km+12km+2.5km, D(親子):1.0km+3.3km+1.0km)

クラス	順位	氏名	年齢	総合記録	1st RUN	BIKE	2nd RUN
A	1位	ケン・スーザ	31	02:10:41	00:15:59	01:17:16	00:37:26
	2位	福元 哲郎	24	02:17:28	00:16:42	01:25:03	00:35:43
	3位	竹本 茂	31	02:17:31	00:17:17	01:22:22	00:37:52
B	1位	津々見真二	25	01:35:45	00:17:31	00:59:13	00:19:01
	2位	大中 靖	37	01:42:51	00:17:20	01:06:33	00:18:58
	3位	角田 和男	24	01:44:05	00:18:16	01:05:41	00:20:08
C	1位	梅田 誉夫	20	00:40:35	00:08:22	00:22:51	00:09:22
	2位	李 鐘賢	23	00:43:15	00:08:40	00:24:37	00:09:58
	3位	椋木 直樹	15	00:43:47	00:08:59	00:25:30	00:09:18
D小1.2	1位	三好青史郎・健造	9/38	00:16:51	00:05:27	00:07:28	00:03:58
小3.4	1位	平本 昌樹・義昌	11/40	00:15:39	00:04:11	00:08:05	00:03:23
小5.6	1位	谷口泰二郎・薫	14/46	00:17:34	00:04:49	00:08:42	00:04:03

’97年(11月2日開催 A:5.0km+36km+5.0km, B:2.5km+12km+2.5km,
C(親子):1.0km+3.3km+1.0km)

クラス	順位	氏名	年齢	総合記録	1st RUN	BIKE	2nd RUN
A	1位	井原 信介	23	01:54:41	00:16:16	01:21:04	00:17:21
	2位	高橋 泰夫	30	01:57:50	00:16:29	01:22:49	00:18:32
	3位	津々見真二	26	01:59:20	00:17:49	01:22:59	00:18:32
B	1位	福元 哲郎	25	00:38:45	00:08:27	00:20:55	00:09:23
	2位	川本 猛希	20	00:39:58	00:08:17	00:22:49	00:08:52
	3位	斎藤 公章	27	00:40:15	00:09:00	00:21:45	00:09:30
C	1位	花田 光・弘	12/38	00:13:19	00:03:49	00:05:54	00:03:36
	2位	平本昌樹・義昌	12/41	00:13:27	00:03:44	00:06:01	00:03:42
	3位	永田祐一・守	13/41	00:14:25	00:04:05	00:06:19	00:04:01

’98年(11月1日開催 A(エリート):2.5km+24.6km+2.5km, B(ジュニア):1.0km+3.3km+1.0km)

クラス	順位	氏名	年齢	総合記録
A	1位	高橋 泰夫	31	00:56:21
	2位	福元 哲郎	26	00:59:07
	3位	ホー・ル・ウォー・ル・シュ	30	01:01:50
B	1位	山根瑠太郎	12	00:15:36
	2位	宝橋 和也	10	00:16:00
	3位	坂田 知紀	9	00:18:05

注: ’98年は総合タイムのみ計時であった。



広島県トライアスロン協会

年 譜

創設期

1993年(平成5年)

- 7月 4日 '93ワールドトライアスロンINひろしま大会アフターレース交流会へ、
県内トライアスリート60名が集い、ピースランへの協力が話し合われた。
- 8月 6日 ピースラン後の交流会にて、広島県内のトライアスリートの組織を作り、交
流親睦を図り、トライアスロンを発展させて行くことが話し合われた。
- 9月 2日 瀬戸内トライアスロンクラブ吉村光俊代表により、トライアスロン県内組織
作りについて、議論のお願いが書面にて県内25のクラブへ呼びかけられた。
- 9月30日 第1回広島県西部地区トライアスロン組織設立代表者会議が広島市西区文化
センターにて20名の出席者のもとで開催され、広島県の横断的なトライアスロ
ン組織を作ること及び組織結成まで、西部地区の代表世話人として、瀬戸内ト
ライアスロンクラブの吉村光俊氏を選出し、荒井貞光氏、入沢雅典氏、田中敏
也氏、上田節氏、塩村年男氏、滝川博幸氏の6名の世話人が指名され世話人と
ともに運営に当たることが議決された。
- 10月 8日 第1回広島県東部地区トライアスロン組織設立代表者会議が福山市西町集會
所にて11名の出席者のもとで開催され、東部地区代表世話人として、クイー
ンKの平川卓郎氏を選出し、乾由基夫氏、高橋誠氏、西野敏明氏の3名の世話
人が指名され組織設立のための準備委員会が発足された。
- 10月29日 第1回世話人会が吉村産業内にて吉村光俊氏、荒井貞光氏、入沢雅典氏、塩
村年男氏、滝川博幸氏、上田節氏の代理人で松本有司の6名が出席し開催さ
れ、結成趣旨、参加資格、組織名称、合同世話人会・合同代表者会議の開催等
についての討議がなされた。
- 10月30日 広島県トライアスロン協会設立準備会の会報誌「情報 Vol.1」が発行された。
- 11月12日 第2回県東部地区代表者会議が福山市西町集會所にて開催された。
- 11月15日 第2回県西部地区代表者会議が広島市内の(株)テイケイ広島研修センター
にて26名の出席者のもとで開催された。
- 12月 5日 広島大学体育会主催の「第31回フェニックス駅伝」へ県内のトライアスリ
ートの交流を図るため、「広島県トライアスロン協会設立準備会」のチーム名
称でA、B2チームを出場させ、それぞれ6位、19位と健闘した。
- 同 日 拡大世話人会が17名の出席者のもとで開催された。
- 12月13日 第2回世話人会が8名の出席者のもとで開催された。

1994年(平成6年)

- 1月11日 第3回世話人会が吉村産業内にて9名の出席者のもとで開催され、県協会の
会員募集方法について話し合いを行い、「広島県トライアスロン協会(仮称)

の設立と参加のお願い」を作成し、年会費2000円で会員募集を始める。

1月27日 第4回世話人会が吉村産業内にて10名の出席者のもとで開催され、広島県トライアスロン協会設立総会及び記念パーティーを3月5日に広島弥生会館にて開催することが決定された。

2月 3日 第5回世話人会が吉村産業内にて5名の出席者のもとで開催された。

2月15日 第6回世話人会がテイケイ広島にて9名の出席者のもとで開催された。

同 日 広島県トライアスロンクラブ代表者会議が引き続きテイケイ広島にて21名の出席者のもとで開催され、設立総会を100人規模で開催することを決定し、県内25のクラブに対して出席者数の割り当てがなされた。

3月 1日 第7回世話人会が吉村産業内にて9名の出席者のもとで開催された。

3月 5日 「広島県トライアスロン協会」が31クラブ248名の会員により発足され、設立総会及び記念パーティーが広島弥生会館にて会員及び来賓150名の出席のもとで盛大に開催された。

総会では設立趣旨の説明の後、「規約承認」「役員選出」「活動方針案及び予算案」が審議され、原案どおり承認された。

3月15日 第8回世話人会が吉村産業内にて6名の出席者のもとで開催され、総会で承認された理事会の業務分担案を作成し、県協会設立間での約半年間活動した世話人会が解散された。

第1期（出発期）：会員数403名

1994年（平成6年）

- 3月22日 第1回理事会がもみじ会館にて32名の出席者のもとで開催され、吉村理事長より「県協会設立にいたるまで」の経過報告が行われた。
- 4月1日 J T U公認審判員認定講習会が広島市民病院にて開催された。
- 4月16日 J T Uの設立総会が東京都内にて開催され、協会より川本会長、吉村理事長が出席された。
- 4月19日 第1回常任理事会が吉村産業にて10名の出席者のもとで開催された。
- 5月1日 第1回J T U中国ブロック会議が広島市内にて開催され、川本会長、吉村理事長、荒井理事が出席された。
- 5月6日 第1回デュアスロンヒロシマ部会が吉村産業にて開催され、以後大会までに17回に及ぶ部会や現地打ち合わせ等が行われた。
- 5月30日 第2回理事会がテイケイ広島にて開催された。
- 6月3日 ジュニアトライアスロンINのうみの大会打ち合わせが能美町にて開催され、川本会長、吉村理事長、阿蘇波常任理事が出席した。県協会が主管団体として承認された。
- 6月9日 会報誌「鉄人広島（創刊号）」が発行された。
- 6月11日 '94ワールドトライアスロンインひろしまの大会ルール打ち合わせが呉市体育館にて開催され、川本会長、吉村理事長が出席した。県協会が後援団体として承認された。
- 6月17日 第2回常任理事会がテイケイ広島にて開催された。
- 6月25日 '94さぎしまトライアスロンの大会打ち合わせが三原市中央公民館にて開催され、吉村理事長、谷口常任理事が出席した。県協会が後援団体として承認された。
- 6月26日 第1回練習会（スイム&ラン）が能美海上ロッジ周辺にて32名の参加のもとで開催された。
- 7月3日 「'94ワールドトライアスロンインひろしま」へ審判員を派遣した。
- 7月17日 「1994スイムランかまがり」の大会運営へ浜本常任理事が協力した。
- 7月26日 第2回J T U中国ブロック会議が山口県の新南陽市で開催され、川本会長、津野瀬副会長、吉村理事長が出席した。
- 7月31日 「'94ジュニアトライアスロンINのうみ」へ前日準備員・計時員・審判員を派遣した。
- 8月2日 第3回理事会が幟町文化会館にて開催された。
- 8月28日 「'94トライアスロンさぎしま」へ審判員を派遣した。
- 9月4日 「'94デュアスロンヒロシマ」が県立中央森林公園にて296名が参加して盛大に開催された。
- 9月29日 第4回理事会が広島市西区文化センターにて開催された。
- 10月5日 J T U猪谷会長との懇談会が広島プリンスホテルにて開催され、川本会長、津野瀬副会長、吉村理事長、荒井常任理事が出席した。

10月11日 JTU佐々木理事長との懇親会が広島市内の日向娘にて開催され、川本会長、津野瀬副会長、吉村理事長、荒井常任理事が出席した。

11月3日 第2回練習会（バイク&ラン）が中央森林公園にて38名の参加のもとに開催された。

11月12日 西日本ブロック主催者会議が福岡市で開催され、田中常任理事が出席した。

11月13日 西日本地区評議員拡大会議が福岡市で開催され、川本会長、吉村理事長、荒井常任理事が出席した。

11月26日 第5回理事会が横川会館にて開催された。

12月9日 川本会長、吉村理事長、田中常任理事が広島県知事室にて藤田雄山知事と会見した。

12月28日 第3回常任理事会がテイケイ広島にて開催された。

1995年（平成7年）

1月10日 三役会が県庁にて開催された。

1月13日 第4回常任理事会がテイケイ広島にて開催された。

1月26日 第6回理事会がテイケイ広島にて開催された。

2月3日 三役会がフォーラムにて開催された。

2月7・13日 '95ワールドトライアスロンインひろしま大会打ち合わせが呉市で開催され、川本会長、吉村理事長、谷口常任理事が出席した。

2月15日 第5回常任理事会がテイケイ広島にて開催された。

3月12日 JTU第3種公認審判員講習会が県立総合体育館にて40名が受講のもとに開催された。

3月17日 '95ワールドトライアスロンインひろしま実行委員会が呉市商工会議所で開催され、川本会長が出席した。

3月22日 第6回常任理事会がテイケイ広島にて開催され、第2回総会議案が決議された。

第2期（飛躍期）：会員数416名

1995年（平成7年）

4月8日 第2回総会が広島市民病院10階講堂にて219名の出席によって開催され、「94年度事業報告」「94年度会計報告」「95年度事業計画」「95年度予算案」「規約の改正」が原案どおり承認された。

1年目であった'94年度を反省しつつ'95年度の活動の飛躍を誓い合った。総会終了後、場所を職員食堂に変えて交流パーティーで懇親した。

4月16日 第1回練習会（バイク&ラン）が中央森林公園にて25名が参加のもとに開催された。

4月28日 会報誌「鉄人広島（第3号）」が発行される。

5月3～5日 第1回合宿が湯来町のYMCAみのち学荘にて開催され、スタッフ・コーチを含む30名が参加した。

5月20日 第1回理事会がテイケイ広島にて開催され、スタッフ登録、選手の推薦基準、理事会の定例化等についての審議がなされた。

6月4日 第2回練習会（スイム）が県立総合体育館屋内プールにて10名が参加のもとに開催された。

6月5日 財団法人広島県体育協会より準加盟競技団体として承認される。

6月7日 県体協より評議員推薦を依頼されたので、津野瀬副会長を推薦した。

同日 第2回理事会が広島市民病院にて開催され、理事の役割分担についての審議がなされた。

6月13日 第1回審判部研修会が広島市民病院にて開催された。

6月24日 第2回審判部研修会が佐木島開発総合センターにて開催された。

6月30日 会報誌「鉄人広島（第4号）」が発行される。

7月2日 第3回練習会（スイム&ラン）が能美海上ロッジ周辺にて22名が参加のもとに開催された。

7月5日 第3回理事会が広島市民病院にて開催された。

7月9日 「'95ワールドトライアスロンインひろしま」へ審判員を派遣した。

7月16日 「1995スイムランかまがり」へ大会運営員・審判員を派遣した。

7月30日 「'95ジュニアトライアスロンINのうみ」へ前日準備員・計時員・審判員を派遣した。

8月2日 第4回理事会が広島市民病院にて開催され、ピースランのサポート、デュアスロンヒロシマ、道後山高原TC&R等について討議された。

8月12～14日 第2回合宿が西城町クロカンパークにて開催され、スタッフ・コーチを含む20名が参加した。

8月18～20日 「第1回道後山高原トライアスロンキャンプ&レース」へ競技役員・審判員・計時スタッフ・運営スタッフ総勢23名を派遣した。

8月19日 西日本トライアスロン大会主催者会議が福岡県玄海町で開催され、平川理事が出席した。

8月31日 会報誌「鉄人広島（第5号）」が発行される。

- 9月 6日 第5回理事会が広島市民病院にて開催され、デュアスロンヒロシマ、事務局体制、事業会計の処理等が討議された。
- 10月 4日 第6回理事会が広島市民病院にて開催され、組織体制の整備、事務局問題等について討議された。
- 11月 3日 会報誌「鉄人広島（第6号）」が発行される。
- 11月 8日 第7回理事会・第2回評議員会が広島市民病院にて開催され、加川事務局長代行の就任及び事務局の移転が承認されるとともに事務局整備に伴う予算執行、県協会財源確保、今後の活動行事についての討議がなされた。
- 11月10日 事務局がこれまでの（有）吉村産業内から同ビル内の204号室へ移転独立するとともに専任事務局員（アルバイト）を雇用することとなった。
- 11月26日 救急救命講習会が広島市民病院にて20名が参加のもとで開催された。
- 12月 6日 第8回理事会が広島市民病院にて開催され、会員管理・会計処理のためのパソコン導入が承認されたほかJTU登録方法についての討議がなされた。

1996年（平成8年）

- 1月10日 第9回理事会が広島市民病院にて開催され、第3回総会に向けての討議がなされた。
- 1月21日 第4回練習会（スイムシリーズ①～③）が廿日市ジャパンスイミングスクールにて46名が参加のもとで開催された。
- 2月 1日 会報誌「鉄人広島（第7号）」が発行される。
- 2月 7日 第10回理事会が広島市民病院にて開催され、前回に続き第3回総会に向けての討議がなされた。
- 3月 6日 第11回理事会が広島市民病院にて開催され、表彰規定が承認されるとともに96年度役員人事についての討議がなされた。
- 3月23日 第12回理事会・第3回評議員会が広島市民病院にて開催され、表彰規定の制定及び第3回総会議案が議決された。

第3期（発展期）：会員数528名

1996年（平成8年）

- 4月 1日 会報誌「鉄人広島（第8号）」が発行される
- 4月 6日 第3回総会が広島市民病院10階講堂にて開催され、事業活動が定着し始めた
95年度を踏まえ、3年目となる96年度の活動の更なる定着と発展を確認した。
総会終了後、交流パーティーで会員相互の親睦を図った。
- 4月 7日 J T U第3種公認審判員認定講習会を実施し、27名の審判員が誕生した。
- 4月24日 第1回理事会が広島市民病院にて開催され、新年度の執行体制、役割分担、
評議員の選出等の討議がなされた。
- 5月3～5日 '96年度春合宿が湯来町周辺にて開催され、スタッフ選手21名が参加した。
- 5月12日 西城町クロカンパークにおいて、ジュニアを対象とした第1回トライアスロン
教室を開催した。
- 5月15日 第2回理事会が広島市民病院にて開催され、個人登録方法の一本化、旅費交
通費規定の改定、会報広告募集についての討議がなされた。
- 6月 1日 会報誌「鉄人広島（第9号）」が発行される。
- 6月 9日 西城町クロカンパークにおいて、第2回トライアスロン教室を開催した。
- 6月12日 第3回理事会・第1回評議員会が広島市民病院にて開催され、新年度執行体
制、県内大会の動きが報告されるとともにニュージーランドトライアスロン連
盟との交流について承認された。
- 6月30日 '96第1回スイムラン練習会が能美海上ロッジ周辺にて開催され、スタッ
フ・選手45名が参加した。
- 7月 7日 ワールドトライアスロンインひろしまからリニューアルし後援大会となった
「'96瀬戸内マリ、ンブルートライアスロン」へ運営員・審判員を25名派遣
するとともに国際交流の一環としてニュージーランドから第1回目となる選手
招待を実施し、スティーブ・シュルドレイク選手とジョー・モーゼイ選手を迎
え、県協会揚げて歓迎した。
- 7月10日 第4回理事会が県庁会議室にて開催され、道後山高原トライアスロンC&R、
デュアスロンひろしまの成功に向けて討議がなされた。
- 7月14日 後援大会の「スイムランインかまがり」へ運営員・審判員を24名派遣した。
同 日 西城町クロカンパークにおいて、第3回トライアスロン教室を開催した。
- 7月28日 主管大会の「'96ジュニアトライアスロンINのうみ」へ運営員・計時員・
審判員を22名派遣した。
- 8月 2日 デュアスロン部会がパワーマンジャパンの富田理事長を迎え開催された。
- 8月 7日 第5回理事会がテイケイ広島にて開催され、デュアスロンひろしまとパワー
マンジャパンの同時開催が承認された。
- 8月13～15日 '96夏合宿が西城町周辺にて開催され、スタッフ・選手12名が参加した。
- 8月16～18日 主管大会の「第2回道後山高原トライアスロンキャンプ&レース」へ運営員・
計時員・審判員を派遣した。
- 9月 1日 後援大会の「'96トライアスロンさぎしま」へ審判員を9名派遣した。

同日 会報誌「鉄人広島（第10号）」が発行される。

9月11日 第6回理事会がテイケイ広島にて開催され、道後山高原大会の51.5km化の検討、今後の県内大会との関わり方、NZ交流の今後の取り組み等についての討議がなされた。

10月6日 主催大会の「デュアスロンヒロシマ'96兼パワーマンジャパンインヒロシマ」が県立中央森林公園にて全国より287名（チーム12）の参加者を迎えて盛大に開催された。

11月6日 第7回理事会が開催され、NZへの交流選手の派遣、デュアスロンひろしまの次年度以降の取り組みについて討議がなされた。

12月1日 J T U中国ブロック会議が県立総合体育館で開催され、川本会長、吉村理事長、田中理事、与儀事務局長が出席した。

中国選手権の開催、中国ブロックトライアスロン協議会（仮称）組織を設立することが議決された。

同日 会報誌「鉄人広島（第11号）」が発行される。

12月11日 第8回理事会が広島市内の「鮮や」にて開催され、日本選手権が瀬戸内マリンプルートライアスロンで51.5kmで97年10月5日に実施されることが内定したこと、中国選手権を道後山高原大会で97年度に実施することが発表された。

12月22日 県協会から津野瀬副会長、与儀事務局長をニュージーランドへ派遣（旅費は自費による）し、TNZのシェルドレイク会長と面談し、未永い友好交流を約束するとともに新たにジュニア選手の交流の覚書を交わした。

12月28日 97年1月1日にNZで開催される「'97ファーストライトトライアスロン」へ県協会から第1回派遣選手として福元哲郎・三好愛両選手を派遣した。
NZ在中の津野瀬副会長、与儀事務局長が国内移動のアテンドを努めた。

1997年（平成9年）

1月18日 第9回理事会が県立総合体育館にて開催され、97年度の予算案、会費、執行体制、総会の日程等についての討議がなされた。

1月19日 '96第1回スイム練習会がJSS廿日市にて開催され、スタッフ・コーチを含み37名が参加した。

2月1日 会報誌「鉄人広島（第12号）」が発行される。

2月11日 普通救命講習会を県立総合体育館にて開催し、34名が受講した。

2月16日 '96第2回スイム練習会がJSS廿日市にて開催され、スタッフ・コーチを含み37名が参加した。

2月19日 第10回理事会がテイケイ広島にて開催され、前年に引き続き次年度の予算案、事業計画、総会の進め方についての討議がなされた。

3月12日 第11回理事会がテイケイ広島にて開催され、97年度の予算案、事業計画、執行体制についての決議がされた。

3月16日 '96第3回スイム練習会がJSS廿日市にて開催され、スタッフ・コーチを含み32名が参加した。

第4期（充実期）：会員数541名

1997年（平成9年）

4月5日 第4回総会が広島県立総合体育館大会議室にて開催され、協会発足以来3年
が経過し、会員数も500名を突破した'96年度を踏まえ、4年目となる'97年
度の協会事業活動の更なる発展と県体育協会正加盟に向けて努力していくこと
を確認した。

4月13日 J T U公認第3種審判員認定講習会が広島市東区民文化センターにて開催さ
れ、16名の審判員が誕生した。

4月20日 会報誌「鉄人広島（第13号）」が発行される。

5月3～5日 合宿が湯来町周辺で開催され、スタッフ・コーチを含む18名が参加した。

5月7日 第1回常務理事会が県協会事務局にて開催され、97年度事業計画、中国ブ
ロック会議、中国選手権についての討議がなされた。

5月14日 第1回理事会が広島市内の県立県生涯学習センターで開催され、新年度事業
計画、中国ブロックの開催、中国選手権について承認された。

5月24日 第2回常務理事会を生涯学習センターで開催され、97年度のニュージーラ
ンド交流について討議がなされた。

同日 J T U中国ブロック会議がJ T Uから荒井理事長と大塚事務局長を迎えて、
生涯学習センターで開催され、各県の97年度の大会日程の報告とともに、
中国選手権が'97 J T U中国ブロック選手権の名称で、道後山高原クロカン
パークで開催することが議決された。会議終了後、荒井理事長と大塚事務局長
を囲んでの懇親会を開催した。

5月26日 広島県体育協会理事会において「広島県トライアスロン協会」が念願の正加
盟競技団体として承認される。

6月1日 会報誌「鉄人広島（第14号）」が発行される。

6月8日 97年度トライアスロン教室を西城町クロカンパークで開催し、小・中学生
10名が参加した。

6月11日 第3回常務理事会が事務局にて開催され、日本選手権及び中国ブロック選手
権の対応、N Z派遣選手、未継続会員への対策等についての討議がなされた。

6月29日 県体育協会正加盟祝賀会が県民文化センター「あび」にて開催された。

6月30日 スタッフ&ラン練習会が能美海上ロッジ周辺にて開催され、スタッフ・コー
チを含む22名が参加した。

7月8日 第4回常務理事会が事務局にて開催され、評議員会の開催の討議がなされた。

7月13日 主管大会となった「1997スイムランかまがり」へ運営員25名、審判員
4名を派遣した。

7月27日 主管大会である「'97ジュニアトライアスロンinのうみ」大会が、台風
接近のため、開催中止となった。

8月7日 第5回常務理事会が県協会事務局にて開催され、第2回理事会、評議員会、
中国ブロック選手権、日本選手権、デュアスロン大会の役割分担等について
の討議がなされた。

- 8月 9日 第2回理事会が生涯学習センターにて開催され、中国ブロック選手権、日本選手権の審判員派遣、デュアスロン大会の役割分担について決定した。
- 同日 97年度評議員会が生涯学習センターにて開催され、県内大会の動きの報告後、評議員会の在り方やクラブ内での問題点、クラブからの提案の意見交換がなされた。
- 8月17日 J T U中国ブロックが生涯学習センターにて開催され、中国ブロック選手権についての討議がなされた。
- 8月22~23日 「'97 J T U中国ブロック選手権（兼）第3回道後山高原トライアスロンキャンプ&レース」へ運営員40名、審判員17名、計時員8名を派遣するとともにNZよりグレン・アンダーソン、ノーザン・ストレッチの男子2名のジュニア選手を招待した。
- 8月28日 J T Uメディカル委員会がJ T U事務局にて開催され、J T Uメディカル委員の川堀理事が出席した。
- 8月31日 後援大会である「'97トライアスロンさぎしま」へ運営員2名、審判員13名を派遣した。
- 9月 1日 会報誌「鉄人広島（第15号）」が発行される。
- 9月10日 第6回常務理事会が事務局にて開催され、中国ブロック選手権の報告やデュアスロン大会、J T Uからの依頼事項等についての討議がなされた。
- 10月 5日 「第3回日本トライアスロン選手権（兼）'97瀬戸内マリブルートライアスロン」へ運営員3名、審判員37名、アテンド1名を派遣するとともにNZよりブレント・シェルドレイク、ナオミカルダーの男女2名のシニア選手を招待した。
- 10月15日 第7回常務理事会が事務局にて開催され、日本選手権の報告やJ T Uブロック会議、デュアスロンの大会運営、NZフレンドシップ協会広島支部設立等についての討議がなされた。
- 11月 2日 主催大会である「デュアスロンヒロシマ'97」へ運営員120名、審判員19名、計時・判定員23名を当てた。
- 11月19日 第8回常務理事会が事務局にて開催され、デュアスロン大会の報告や98年度の活動方針、NZ派遣選手選考、全国事務局長会議への提案事項等の討議がなされた。
- 11月22日 J T U普及委員会が東京都内の国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催され、県協会よりJ T U普及委員の川堀理事が出席した。
- 11月23日 J T U拡大総務委員会がJ T U事務局にて開催され、県協会よりJ T U総務連絡員の神殿理事が出席した。
- 11月22~23日 J T U加盟団体の全国事務局長会議が国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催され、県協会より与儀事務局長が出席した。
- 12月 1日 会報誌「鉄人広島（第16号）」が発行される。
- 12月21日 第9回常務理事会が事務局にて開催され、98年度の執行体制、財務の確立、大会運営等の討議がなされた。

1998年(平成10年)

- 1月18日 第1回スイム練習会がJSS廿日市で開催され、スタッフ・コーチを含む17名が参加した。
- 2月 1日 第10回常務理事会が生涯学習センターにて開催され、第5回総会、第3回理事会、第2回評議員会の進行についての討議がなされた。
- 同 日 J T U中国ブロック会議が、生涯学習センターにて開催され、各県の98年度計画、各県協会の加入状況、普及・強化その他の活動状況等についての討議がなされた。
- 2月 7日 会報誌「鉄人広島(第17号)」が発行される。
- 2月 8日 トライアスロン競技普及のための「インドア・トライアスロン」が広島市内のセンチュリースポーツクラブにて開催され、小・中学生10名が参加した。
- 2月11日 普通救命講習会が県立総合体育館にて開催された。
- 2月15日 第2回スイム練習会がJSS廿日市で開催され、スタッフ・コーチを含む20名が参加した。
- 2月 日 N Zの「'98ファーストライトトライアスロン」へ谷口副理事長を団長として丸山秀登、内藤美津子、山口伸治の4名を派遣した。合わせて行った一般募集により愛知県の鈴木さんが参加した。
- 2月22日 J T U公認第2種及び第3種審判員認定講習会が広島市中央公民館にて開催され、第2種5名、第3種9名の審判員が誕生した。
- 3月 8日 第3回理事会・第2回評議員会が生涯学習センターで開催され、98年度事業計画についての意見交換が行われた。
- 3月16日 第3回スイム練習会がJSS廿日市で開催され、スタッフ・コーチを含む12名が参加した。

第5期（転換期）：会員数419名

1998年（平成10年）

- 4月 1日 会報誌「鉄人広島（第18号）」が発行される。
- 4月 4日 J T Uメディカル委員会がJ T U事務局にて開催され、県協会からJ T Uメディカル委員の川堀理事が出席した。
- 4月 5日 第5回総会が広島市西区民文化センターにて開催され、県体育協会の正加盟競技団体となり事業活動も定着した'97年度を踏まえ発足以来5年目の節目となる'98年度から吉村理事長より谷口新理事長へバトンタッチされ、執行体制も総務本部・事業本部の2本部体制を築き、県協会事業活動の更なる発展を誓った。
- 4月21日 第1回常務理事会が事務局にて開催された。
- 4月25日 第1回理事会が広島市民病院大会議室にて開催され、98年度事業計画について審議された。
- 5月 3日 広島市経済局競輪事業部が主体のフラワーフェスティバルのパレードに競技団体として参加し、トライアスロン競技をPRした。
- 5月10日 '98年度第1回トライアスロン教室（バイク&ラン）が道後山高原クロコロンパークにて小・中学生を対象に開催された。
- 同日 第1回J T U中国ブロック会議が山口県宇部市で開催された。
- 5月17日 審判員講習会を県立生涯学習センターにて開催した。
- 5月30日 第2回理事会が生涯学習センターにて開催され、各部事業計画についての報告等がなされた。
- 6月14日 第2回トライアスロン教室（スイム&バイク）が西城町菅温水プール及びクロコロンパークにて小・中学生を対象に開催された。
- 6月27日 第3回理事会が広島市内のワシントンホテルにて開催され、各部の活動状況報告のほか、協賛依頼、事務局への複写機の設置等が話し合われた。
- 6月28日 第2回J T U中国ブロック会議が広島市内で開催された。
- 7月 1日 会報誌「鉄人広島（第19号）」が発行される。
- 7月 6日 第2回常務理事会が事務局にて開催された。
- 7月11~12日 主管大会となった「1998スイムランin蒲刈」へ運営員、審判員、計時員を29名派遣した。
- 7月19日 「第18回全日本トライアスロン皆生大会」へダグラス・マロウ選手を推薦した。
- 7月21日 第4回理事会が県庁で開催され、98年度未登録者への対応、協会への協賛活動対策、新規大会の企画等が協議された。
- 7月24~25日 「'98ジュニアトライアスロンINのうみ」を主管し、へ運営員、審判員、計時員を28名派遣した。
- 7月26日 「第4回日本トライアスロン選手権（第13回長良川国際トライアスロン）」へ丸山秀登選手を推薦した。
- 8月1~2日 「'98J T U中国ブロック選手権（兼）第4回道後山高原トライアスロンキャンプ&レース」を主管し、運営員、審判員、計時員67名を派遣するとともにNZよりシャネル・オーエン、ニコラ・デ・ローターの女子ジュニア

選手2名を招待した。

中国ブロック選手権へ山口伸治・酒井厚輝・丸山秀登・福元哲郎・森下圭・宇都宮晶選手を派遣した。

8月23日 「'98トライアスロンさぎしま(兼)'98日本学生トライアスロン選手権中国・四国・九州ブロック予選会」を主管し、運営員、審判員15名を派遣するとともにNZよりニコル・コープ、サム・ストレッチのシニア選手男女2名を招待した。

8月29日 18:00~22:00の間、福山ローズアリーナ公園と広島市中央公園において、会員の親睦を目的としたナイトランを開催した。

9月6日 主管大会となった「第1回ビギナーズトライアスロンセミナーINグリーンピア」へ運営員、審判員4名を派遣した。

同日 「ITUロングディスタンストライアスロン世界選手権佐渡大会」へJTUからドーピング検査のため川堀理事を派遣した。

9月13日 「西日本ブロック対抗戦(小豆島オーリーブトライアスロン国際大会)」へ2名の審判員を派遣するとともに福元哲郎・丹羽一夫両選手を推薦した。

9月16日 第3回常務理事会が広島市西区民文化センターにて開催された。

同日 常務理事会に引き続き、第5回理事会が開催され、NZ派遣選手の候補選定、デュアスロンヒロシマ大会の開催について審議がなされた。

9月20日 「ASTCトライアスロン・アジアカップ村上大会(村上国際トライアスロン)」へ福元哲郎選手を推薦した。

9月27日 第3回JTU中国ブロック会議が広島市内で開催された。

10月1日 会報誌「鉄人広島(第20号)」が発行される。

10月11日 JTU技術委員会がJTU事務局にて開催され、県協会からJTU技術委員の谷口理事長が出席した。

10月18日 「道後山高原クロスカントリー」の計測業務を受託し、2名の計測員を派遣した。

10月25日 広島市比治山公園山頂一帯で、会員の親睦を目的とした8時間耐久のクラブ対抗駅伝を開催した。

10月28日 第4回常務理事会が事務局にて開催された。

11月1日 「デュアスロンヒロシマ'98日米親善カップ」を運営員、審判員、計時員18名で主催した。

11月21日 第4回JTU中国ブロック会議が鳥取県米子市で開催され、98年度加盟団体交付金、99年度大会予定、第2回西日本ブロック対抗戦等についての討議がなされた。

同日 JTU普及委員会がホテルB&Gにて開催され、県協会からJTU普及委員会の川堀理事の代理で広中理事が出席した。

11月22日 JTU拡大総務委員会が東京都内のホテルB&Gにて開催され、県協会からJTU総務連絡員の神殿理事の代理で与儀事務局長が出席した。

11月22~23日 JTU加盟団体事務局長会議が東京都内のホテルB&Gにて「明日の事務局

運営を考える」をテーマに開催され、県協会から与儀事務局長が出席した。

11月28日 J T Uメディカル委員会がJ T U事務局にて開催され、県協会からJ T Uメディカル委員の川堀理事が出席した。

同日 J T U女子委員会がJ T U事務局にて開催され、県協会からJ T U女子委員会連絡員の藤岡審判部委員が出席した。

11月29日 広島市内のセンチュリースポーツクラブにおいて、トライアスロン競技の普及・振興を目的とし、小中高校生の初心者を中心に第2回となるインドア・トライアスロンを開催した。

12月 1日 会報誌「鉄人広島（第21号）」が発行される。

12月 6日 第6回理事会が広島市内の鳥串一代で開催され、下半期の活動計画、99年度事業内容の検討が行われた。

12月30日 1月3日にN Zのギズボン市で開催される「'99ファーストライトトライアスロン」へ川本会長を団長に高橋功・田川陽子・宇都宮晶・酒井厚輝の4選手を派遣するとともに一般参加者3名と合わせて総勢8名のN Z訪問団を送った。

1999年（平成11年）

1月23日 第7回理事会が県立生涯学習センターにて開催され、総務本部・事業本部の報告及びJ T U関連の報告のほか99年度重点事業・協会組織体制等についての討議がなされた。

同日 第5回J T U中国ブロック会議が広島市内で開催された。

1月16日 J T U中国・四国ブロック上級審判員勉強会がJ T Uから中山技術委員長を招いて広島市東区スポーツセンターにて開催され、中国・四国ブロック技術委員会の設立が採択され、古田常務理事が同委員会事務局長に就任した。

1月24日 第1回スイム練習会を県立総合体育館屋内プールにて初級・中級・上級にクラスを分けて開催した。

2月 1日 会報誌「鉄人広島（第22号）」が発行される。

2月11日 救命救急講習会が県立総合体育館にて心肺蘇生法の習得を目的に開催され、23名が受講した。

2月13日 第5回常務理事会が事務局にて開催された。

2月21日 第2回スイム練習会を県立総合体育館屋内プールにて開催した。

同日 第8回理事会が広島市民病院で開催され、99年度の執行体制・活動方針・重点事業・総会の開催等についての討議がなされた。

2回28日 J T U平成11年度強化指定選手認定記録会中国・四国ブロック選考会を県立総合体育館屋内プール及び広島スタジアムにて開催した。

同日 第2回全国一斉J T U公認審判員認定試験及び講習会が広島市民病院大会議室にて開催され、第2種を5名、第3種を6名が受験した。

3月 6日 第6回常務理事会が事務局にて開催された。

3月14日 第3回スイム練習会を県立総合体育館屋内プールにて開催した。

同日 第9回理事会が県立生涯学習センターにて開催され、99年度の執行体制、第6回総会について議決された。

広島県トライアスロン協会規約

(1994年3月5日 制定)

(1995年4月8日一部改正)

(1997年4月5日一部改正)

(1998年4月5日一部改正)

第1条 名称

本会は、広島県トライアスロン協会（以下、「本会」と略称する。）と称する。

第2条 事務局

本会は、事務局を広島市内に置く。

第3条 目的

本会は、広島県におけるトライアスロン競技の普及と振興を目指すと共に会員相互の親睦を図ることを目的とする。

第4条 事業

本会は、前条の目的を達成するために、次の各号の事業を行う。

- 1 トライアスロンに関する講習会の開催及び指導者を育成すること。
- 2 トライアスロンに関する競技会に関すること。
- 3 広島県内の各大会及び練習会を公認、支援すること。
- 4 トライアスロンに関する機関紙及び刊行物を発行すること。
- 5 日本トライアスロン連合に加盟し、その決定連絡事項を会員に通知すること。
連合への登録は、本会より行う。
- 6 その他、本会の目的を達成するために必要な事業。

第5条 会員

会員は、次のとおりとする。

- 1 本会の趣旨に賛同し、年会費を添えて入会を申し出た者は、会員となることができる。継続会員を望む者は、会計年度が終わるまでに、次の会費を納入しなければならない。
- 2 本会に協賛会員を置くことができる。

第6条 役員

本会に次の役員を置く。

- 1 名誉会長 1名
- 2 会長 1名
- 3 副会長 1名

- 4 理事長 1名
- 5 副理事長 若干名
- 6 常務理事 若干名
- 7 理事 若干名
- 8 事務局長 1名
- 9 事務局次長 若干名
- 10 監査 2名
- 11 部会長 若干名
- 12 前項の役員のほかに顧問及び参与を置くことができる。

第7条 役員の選任

役員の選任は、次のとおりとする。

- 1 理事の選任は、次のとおりとする。
 - 1) 会長の指名により、若干名選出する。
 - 2 会長は、総会により選出される。
 - 3 副会長、理事長、副理事長、常務理事、監査は、会長の指名により、総会の承認を得て、選出する。
 - 4 名誉会長、顧問、参与、事務局長、事務局次長、部会長は、会長の指名により、理事会の承認を得て、選出する。

第8条 役員の任期

役員の任期は、1年とする。

第9条 役員の職務

役員の職務は、次のとおりとする。

- 1 会長は、本会の業務を統括し、本会を代表する。
- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、または欠けたときは、副会長がその職務を代行する。
- 3 理事長は、理事会の議決に基づき、業務を掌握し、執行する。
- 4 会長、副会長が共に事故にあるとき、または欠けたときは、理事長がその職務を代行する。
- 5 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故があるとき、または欠けたときは、副理事長がその職務を代行する。
- 6 常務理事は、事務局または専門部会を掌握し、指揮監督する。
- 7 部会長は、専門部会を統括し、円滑に部会が機能する任務を負う。
- 8 監査は、会計及び業務の状況を監査する。
- 9 事務局長は、事務全般を掌握し、円滑に事務局業務が機能する任務を負う。
- 10 事務局次長は、事務局長を補佐し、事務局長に事故があるとき、または欠けたときは、事務局次長がその職務を代行する。

第10条 会計

会計は、次のとおりとする。

- 1 年会費は一人5,000円とし、その内より連合の個人登録費に充てる。
- 2 協賛会員及び個人の寄付を受け付ける。
- 3 会計年度は、4月1日より始まり、翌年の3月末日までとする。

第11条 総会

総会は、次のとおりとする。

- 1 総会は、年1回会長が招集する。ただし、会長が必要と認めたときは、臨時に開催できる。
- 2 総会は、委任状を含め、会員の過半数以上をもって成立する。
- 3 総会では、次の事項を議する。
 - 1) 役員を選出。
 - 2) 事業計画と事業報告の承認。
 - 3) 予算と決算の承認。
 - 4) その他必要事項。
 - 5) 規約の制定、改廃。
- 5 総会は、会議の内容を、議事録に残さなければならない。

第12条 理事会

理事会は、次のとおりとする。

- 1 理事会は、年2回、会長が招集する。また、会長が必要と認めたときは、臨時に開催できる。
- 2 理事会は、委任状を含め、理事の過半数以上の出席で成立する。
- 3 理事長の議決は、出席者の過半数をもって成立する。
- 4 理事会では、次の事項について議決し執行する。
 - 1) 事業計画及び決算。
 - 2) 予算及び決算。
- 5 理事会は、会議の内容を、議事録に残さなければならない。
- 6 理事会の運営に関する規定は、別に定める。

第13条 評議員会

本会の業務遂行のため、評議員会を設置し、次のとおりとする。

- 1 評議員会は、年2回、会長が招集する。また、会長が必要と認めたときは、臨時に開催できる。
- 2 評議員会は、委任状を含め、評議員の過半数以上の出席で成立する。
- 3 評議員会の議決は、出席者の過半数をもって成立する。
- 4 評議員会は、クラブ登録された各クラブより、1名ずつ選出する。
- 5 本会の業務遂行のため必要な事項の議決に参加する。
- 6 評議員会は、会議の内容を、議事録に残さなければならない。

第14条 専門部会

本会の事業遂行のために必要があるときは、理事会の議決により、専門部会を置くことができ、運営に関する規定は別に定める。

第15条 特典

特典は、次のとおりとする。

- 1 クラブより、推薦を受けた本会会員を、各競技会出場のために、積極的な推薦を行う。
- 2 本会は、本会会員により国際大会、全国競技会及び地方競技会への代表参加者を選定し、派遣することができる。

付則

この規約は、1994年3月5日より施行する。

この規約は、1995年4月8日より施行する。

この規約は、1997年4月5日より施行する。

この規約は、1998年4月5日より施行する。

広島県トライアスロン協会歴代役員

世話人会 (1993年9月～1994年3月)

川本 正行	(広島市教職員トライアスロン協会)
吉村 光俊	(瀬戸内トライアスロンクラブ)
陶山 剛司	(自衛隊海田トライアスロンクラブ)
上田 節	(広島トライアスロンクラブ)
荒井 貞光	(広島トライアスロン愛好会)
大木 真樹	(広島トライアスロン愛好会)
塩村 年男	(広島鉄人会)
滝川 博幸	(フォーラム)
平川 卓郎	(クイーンK)
田中 敏也	(テイケイ広島トライアスロンクラブ)
入沢 雅典	(広島大学トライアスロンクラブ)

1994年度役員（1994年4月～1995年3月）

役職名	氏名	担当業務（*印は協賛）	備考
		所属クラブ	
会長	川本 正行	連合・広報・県警・*ワールド・*のうみ・選手派遣 広島鉄人会	
副会長	津野瀬 武久	審判・選手派遣 広島県庁トライアスロンクラブ	
理事長	吉村 光俊	*事務局・連合・デュアスロン・県体協・県警・*選手派遣 瀬戸内トライアスロンクラブ	
常任理事	荒井 貞光	*連合・*県体協・ワールド 広島トライアスロン愛好会	
//	田中 敏也	*デュアスロン テイケイトライアスロンクラブ	
//	瀧川 博幸	*研修・協賛 フォーラム	
//	平川 卓郎	研修・*広報・さぎしま クイーンK	
//	陶山 剛司	デュアスロン・ワールド・*協賛 自衛隊海田トライアスロンクラブ	
//	八城 一信	協賛 自衛隊海田トライアスロンクラブ	
//	入澤 雅典	研修・*学連 広島大学トライアスロンクラブ	
//	大木 真樹	*会計・事務局 広島トライアスロン愛好会	
//	谷口 薫	*審判・ワールド・協賛 瀬戸内トライアスロンクラブ	
//	浜本 兼徳	研修・*蒲刈 瀬戸内トライアスロンクラブ	
//	広中 利次	のうみ 広島鉄人会	
//	阿蘇波 利文	研修・のうみ 広島鉄人会	
理事	仁井 数博	チームカズヒロ	
//	田原 彰	トップサイクリング	
//	西野 敏明	さぎしま 尾道トライアスロンクラブ	
//	古田 眞二	審判・研修 クラブアスリート	
//	上松 秀司	蒲刈 呉麗トライアスロンクラブ	
//	神殿 敬造	広島県庁トライアスロンクラブ	
//	仲本 憲司	109トライアスロンクラブ	
//	笠原 英雄	パラレルTR	
//	藤村 順一	広島市教職員トライアスロン協会	

役職名	氏名	担当業務(※印は積読)	備考
		所属クラブ	
理事	柿原 功三	広島市役所トリアスロンクラブ	
〃	秋山 研龍	福山トリアスロンクラブ	
〃	乾 由基雄	福山鉄人会	
〃	稲本 雅俊	ミズノトリアスロンクラブ	
〃	掛江 明文	クラブエクシー	
〃	土生 幸次	デュアスロン・ワールド マツダトリアスロンクラブ	
〃	牧野 圭三	YMCA-WAAP	
〃	木村 光広	審判 瀬戸内トリアスロンクラブ	
〃	小野 博之	審判 瀬戸内トリアスロンクラブ	
〃	十都 善行	学連・デュアスロン 広島大学トリアスロンクラブ	
〃	森田 克彦	広報 広島鉄人会	
〃	坂野 郁夫	広島鉄人会	
〃	大山 敏明	広島鉄人会	
〃	中谷 康之	KLUB KATZ	
監査	西田 真司	瀬戸内トリアスロンクラブ	
〃	石井 恵子	広島市教職員トリアスロン協会	

1995年度役員 (1995年4月～1996年3月)

役職名	氏名	所属クラブ	留任・新任の別 (在任期間)	備考
会長	川本 正行	広島市教職員TA	留任 (2期目)	
副会長	津野瀬 武久	広島県庁TC	留任 (2期目)	
理事長	吉村 光俊	瀬戸内TC	留任 (2期目)	
理事 (JTU評議員)	吉岡 和平	109TC	新任	
〃 (事務局長)	笠原 英雄	パラレルTR	新任	
〃	荒井 貞光	広島トライアスロン愛好会	留任 (2期目)	
〃	田中 敏也	テイケイTC	留任 (2期目)	
〃	浜本 兼徳	瀬戸内TC	留任 (2期目)	
〃	谷口 薫	瀬戸内TC	留任 (2期目)	
〃	瀧川 博幸	フォーラム	留任 (2期目)	
〃	入澤 雅典	広島大学TC	留任 (2期目)	
〃	平川 卓郎	クイーンK	留任 (2期目)	
〃	土生 幸次	マツダTC	留任 (2期目)	
〃	古田 眞二	クラブアスリート	留任 (2期目)	
〃	川堀 耕史	109TC	新任	
〃	塩村 年男	広島鉄人会	新任	
〃	平野 公穂		新任	
〃	加川 修敏	瀬戸内TC	新任	(事務局長代行)
監査	西田 真司	瀬戸内TC	留任 (2期目)	
〃	石井 恵子	広島市教職員TA	留任 (2期目)	

1996年度役員 (1996年4月～1997年3月)

役職名	氏名	担当業務 所属クラブ	留任・新任 (在任期間)	備考
会長	川本 正行	ジュニアのうみ 広島市教職員トライアスロン協会	留任 (3期目)	
副会長	津野瀬 武久	県体協 広島県庁トライアスロンクラブ	留任 (3期目)	
理事長	吉村 光俊	強化・財務 瀬戸内トライアスロンクラブ	留任 (3期目)	
事務局長	与儀 兼三	事務局・財務 広島県庁トライアスロンクラブ	新任	
理事	吉岡 和平	JTU評議委員 109トライアスロンクラブ	留任 (2期目)	
〃	田中 敏也	デュアスロン テイケイ・フォーラムトライアスロンクラブ	留任 (3期目)	
〃	瀧川 博幸	普及(KKC) テイケイ・フォーラムトライアスロンクラブ	留任 (3期目)	
〃	谷口 薫	審判 瀬戸内トライアスロンクラブ	留任 (3期目)	
〃	浜本 兼徳	普及・かまがり 瀬戸内トライアスロンクラブ	留任 (3期目)	
〃	平川 卓郎	広報 クイーンK	留任 (3期目)	
〃	古田 眞二	ジュニアのうみ・デュアスロン クラブアスリート	留任 (3期目)	
〃	土生 幸次	情報処理 マツダトライアスロンクラブ	留任 (3期目)	
〃	川堀 耕史	医事 109トライアスロンクラブ	留任 (2期目)	
〃	塩村 年男	普及(合宿) テイケイ・フォーラムトライアスロンクラブ	留任 (2期目)	
〃	加川 修敏	デュアスロン・さぎしま 瀬戸内トライアスロンクラブ	留任 (2期目)	
〃	神殿 敬造	さぎしま 広島県庁トライアスロンクラブ	再任 (2期目)	
〃	亀井 清光	普及(KKC) 広島鉄人会	新任	
〃	室田 浩司	デュアスロン テイケイ・フォーラムトライアスロンクラブ	新任	
〃	吉光 健治	道後山 広島市教職員トライアスロン協会	新任	
〃	坂根 啓一	練習会 広島トライアスロンクラブ	新任	
監査	西田 真司	瀬戸内トライアスロンクラブ	留任 (3期目)	
〃	石井 恵子	広島市教職員トライアスロン協会	留任 (3期目)	
顧問	荒井 貞光	広島トライアスロン愛好会		
〃	平野 公穂	テイケイ・フォーラムトライアスロンクラブ		

1997年度役員 (1997年4月~1998年3月)

役職名	氏名	所属部会	留任・新任の別	備考
		所属クラブ	(在任期間)	
会長	川本 正行	強化部	留任	
		広島市教職員T A	(4期目)	
副会長	津野瀬 武久	交流部	留任	
		広島県庁T C	(4期目)	
理事長	吉村 光俊	企画調整部	留任	
		瀬戸内T C	(4期目)	
副理事長 (兼) 企画調整部長	田中 敏也	企画調整部	留任	
		テイケイ・フォーラムT C	(4期目)	
〃 (兼) 競技部長	谷口 薫	競技部	留任	
		瀬戸内T C	(4期目)	
常務理事 (兼) 強化部長	浜本 兼徳	強化部	留任	
		瀬戸内T C	(4期目)	
〃 (兼) 普及部長	亀井 清光	普及部	留任	J T U理事
		広島鉄人会	(2期目)	
〃 (兼) 大会運営部長	古田 眞二	大会運営部	留任	
		クラブアスリート	(4期目)	
〃 (兼) 事務局長	与儀 兼三	交流部	留任	
		広島県庁T C	(2期目)	
理事 (兼) 事務局次長	神殿 敬造	大会運営部	留任	
		広島県庁T C	(2期目)	
〃	室田 浩司	普及部	留任	
		テイケイフォーラムT C	(2期目)	
〃	瀧川 博幸	普及部	留任	
		テイケイ・フォーラムT C	(4期目)	
〃	平川 卓郎	普及部	留任	
		クイーンK	(4期目)	
〃	川堀 耕史	強化部	留任	
		109T C	(3期目)	
〃	塩村 年男	普及部	留任	
		テイケイフォーラムT C	(4期目)	
〃	土生 幸次	競技部	留任	
		マツダT C	(3期目)	
〃	吉光 健治	大会運営部	留任	
		広島市教職員T A	(3期目)	
〃	坂根 啓一	普及部	留任	
		広島T C	(2期目)	
〃	田中 輝雄	普及部	新任	
		広島市立大学T C		
〃	入澤 雅典	普及部	新任	
		広島大学T C		
顧問	荒井 貞光	広島トライアスロン愛好会		
参与	吉岡 和平			
		109T C		
監査	西田 真司			
		瀬戸内T C		
〃	石井 恵子	広島市教職員T A		

1998年度役員 (1998年4月～1999年3月)

1 理事・監査

役職名	氏名	担当部会 所属クラブ	留任・新任の別 (在任期間)	備考
会長	川本 正行	広島市教職員T A	留任 (5期目)	
副会長	津野瀬 武久	広島県庁T C	留任 (5期目)	県体協評議員
理事長	谷口 薫	瀬戸内T C	留任 (5期目)	
副理事長	田中 敏也	テイケイ・フォーラムT C	留任 (5期目)	
〃	亀井 清光	広島鉄人会	留任 (3期目)	J T U理事
常務理事 (事務局長)	与儀 兼三	総務本部長 広島県庁T C	留任 (3期目)	
〃	古田 眞二	事業本部長 クラブアスリート	留任 (5期目)	
理事	土生 幸次	審判部長 マツダT C	留任 (5期目)	
〃	神殿 敬造	国際部長 広島県庁T C	留任 (4期目)	事務局次長
〃	川堀 耕史	強化部副部長 109T C	留任 (4期目)	J T U強化委員
〃	吉光 健治	大会運営部長 広島市教職員T A	留任 (3期目)	
〃	坂根 啓一	普及部副部長 広島T C	留任 (3期目)	
〃	田中 輝雄	広報部長 広島市立大学T C	留任 (2期目)	
〃	入澤 雅典	普及部 (学連担当) 広島大学T C	留任 (3期目)	
〃	広中 利次	普及部長 広島鉄人会	再任 (2期目)	J T U普及委員
〃	門田 信哉	総務部長 広島県庁T C	新任	事務局次長
〃	富田 茂生	総務部副部長 (体協担当) 広島県庁T C	新任	
〃	松井 邦幸	国際部副部長 広島県庁T C	新任	
〃	榎原 一成	国際部副部長 広島県庁T C	新任	
〃	元木 照幸	評議員部長 呉うるめT C	新任	
〃	磯辺 憲明	評議員部副部長 竹原T C	新任	
〃	高橋 正明	評議員部 (東部担当) 尾道T C	新任	
〃	松本 有司	強化部 (強化担当) 広島T C	新任	
監査	西田 真司	瀬戸内T C	留任 (5期目)	
〃	室田 浩司		新任	

2 顧問・参事

役職名	氏名	所属クラブ	備考
顧問	亀井 郁夫		
//	荒井 貞光	広島トライアスロン愛好会	
//	吉村 光俊	瀬戸内TC	
//	浜本 兼徳	瀬戸内TC	
参与	吉岡 和平	109TC	

’99年度会費及び登録手続きについて

広島県トライアスロン協会の’99年度会員登録の手続き方法についてご案内します。

1 ’99年度(1999年4月1日～2000年3月31日)会費・・・5,000円

(内訳)

- ① 日本トライアスロン連合登録費・・・1,000円
- ② 広島県トライアスロン協会会費・・・4,000円

2 登録手続き方法

① 継続登録の方

’98年度会員の方には、既に郵送で案内していますが、その際「払込取扱票」を同封していますので、必要事項を記入のうえ、会費(5,000円)を最寄りの郵便局から払い込んでください。

② 新規登録の方

初めて登録をされる方は、別途「個人登録申請書」と「入会金(2,000円)」が必要となりますので、住所・氏名を書いて80円切手を貼付した返信封筒を同封のうえ、「個人登録申請書」及び「払込取扱票」を事務局までご請求ください。

「払込取扱票」に必要事項を記入のうえ、入会金と会費(合わせて7,000円)を最寄りの郵便局から払い込んでください。また、「個人登録申請書」は協会事務局宛に郵送してください。

(注意事項)

会費の払い込みは、混乱を避けるため会員の皆様に直接お送りする 郵便局の払込取扱票(手数料70円)のみとしていますので、お間違えのないよう、よろしくお願ひします。

編集後記

協会設立5周年を迎える昨年3月、記念誌の発行を自ら提案したものの、年末までほとんど始動せず。年が明けてようやく関係団体に記念誌への寄稿を依頼したが、肝心の資料収集は一行に進まず。(私事で恐縮だが、4月に転勤で単身赴任の身となり、事務局も事務員任せの状態の昨年であった。)

99年度一念発起、資料の収集に事務局へ足を運ぶが、平生の整頓の悪さに何がどこへあるのやら…

そこでまずは書類の整理から始めた。膨大な書類を前にこれが本当に設立から5年しか経っていない団体なのかと変に感心しながら、年譜作りに入った。進むにしたがって設立までの世話人の諸先輩方の血と汗と涙の結晶、多くの方々の御努力の跡がひしひしと伝わって来た。協会活動に携わって3年程でしかない私は己の未熟さを反省。初代理事長吉村氏の「トライアスロンの伝道者になって行こう」という言葉を胸に、次なる10周年へ向かってがんばろうと決意を新たにした。(K・Y)

広島県トライアスロン協会5周年記念誌

編集・発行

広島県トライアスロン協会事務局

〒733-0011 広島市西区横川町1-8-1

吉村ビル204号

TEL : 082-291-0951 FAX : 082-291-0951

印刷/黒船社

〒735-0003 広島市西区三篠町2-12-23

TEL : 082-238-0347 FAX : 082-238-0347

1999年6月1日発行